鴛野校区社会福祉協議会

地　域　福　祉　活　動　計　画

ごあいさつ

大分市においては、平成 26 年度より「みんなが主役の支え合いプラン」（第３期大分市地域福祉計画・第４次地域福祉活動計画）に基づき、地域福祉推進に向けた取り組みが推進されています。

ここ鴛野校区においては、誰もが住みなれた地域で個性を活かし、お互いが支え合い助け合うことにより、安心していきいきと生活できるまちづくりを目指し、自治会や民生委員児童委員、ボランティア、老人クラブ等が連携し、地域住民と協力して、小地域福祉ネットワーク活動等の地域福祉活動を進めてきました。

一方、国においては、「我が事・丸ごと」の地域共生社会実現に向けた地域福祉の推進等、社会福祉を取り巻く環境は大きく変動しています。また、去年の九州北部豪雨や台風第１８号等の自然災害により、多くの被害がもたらされています。

こうした状況に対応していくためには、専門職の対応のみならず、地域社会でのつながりのもと、地域の住民同士による支え合い、助け合う関係づくりが求められます。

そこで、今回、鴛野校区では、今後、鴛野校区が目指す姿について話し合い、地域住民の「困った」にいち早く気付き、助け合える地域づくりを推進するため、「鴛野校区地域福祉活動計画」を策定いたしました。

この計画が、鴛野校区の福祉活動の発展につながることを記念するとともに、計画を策定するにあたりご尽力いただきました関係者並びにご意見をお寄せいただきました皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

鴛野校区社会福祉協議会
会長　寒倉　徳之助

目次

第１章　はじめに 1

（1）計画策定の背景 1
（2）大分市社会福祉協議会とは 1
（3）校（地）区社会福祉協議会とは 1

第2章　鴛野校区について 2

（1）鴛野校区の概要 2
（2）校（地）区社会福祉協議会について 2
（3）人口推移 2
（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状 3
（5）高齢者サロンについて 5
（6）老人会について 6

第3章　ふれあい対象者に関する実態調査 7

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問 8
基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問 10
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問 12
基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問 14

第4章　鴛野校区の活動計画策定までのプロセス 15

基本目標1　地域のつながりをつくる 15
基本目標2　地域福祉の担い手をつくる 16
基本目標3　困りごとを深刻化させない 17
基本目標4　安心・安全をつくる 18

第5章　鴛野校区の活動計画 19

（1）目標と具体的取り組み 19
（2）計画策定メンバー 20
（3）実施経過 20

第6章　資料編 21

（1）他の活動紹介 21
（2）実態調査の項目 26
（3）実態調査集計結果 33

第１章　はじめに

（1）計画策定の背景

鴛野校区は、国道 10 号に沿って校区が広がっており、周辺は大規模な住宅団地をはじめとして住宅が多くあります。また、国道 10 号沿いにはロードサイド店舗が数多く進出していて、大きく発展することが期待されます。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、校区に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆を、さらに太く育て次の子どもたちの世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「鴛野校区福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたくなる街・鴛野校区を目指してまいります。

（2）大分市社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という 2 つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社協は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

（3）校（地）区社会福祉協議会とは

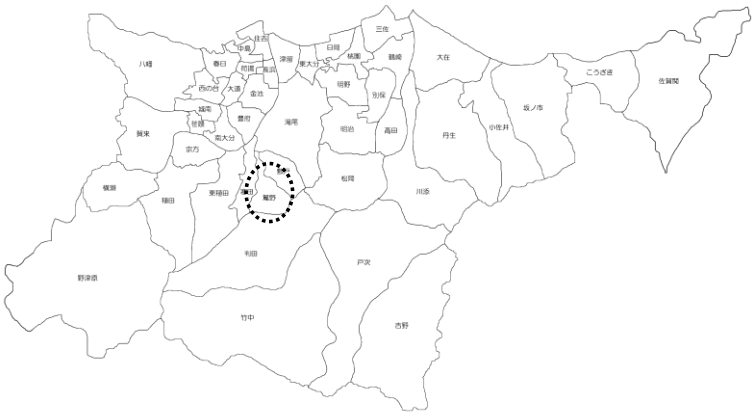
小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民により組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に 45 の校（地）区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動〔ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など〕を展開しています。

第2章　鴛野校区について

（1）鴛野校区の概要

◇鴛野校区は、国道 10 号に沿って校区が広がっており、周辺は大規模な住宅団地をはじめとして住宅が多くあります。

◇16 の自治会区と 11 の民生委員児童委員区、ボランティア団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

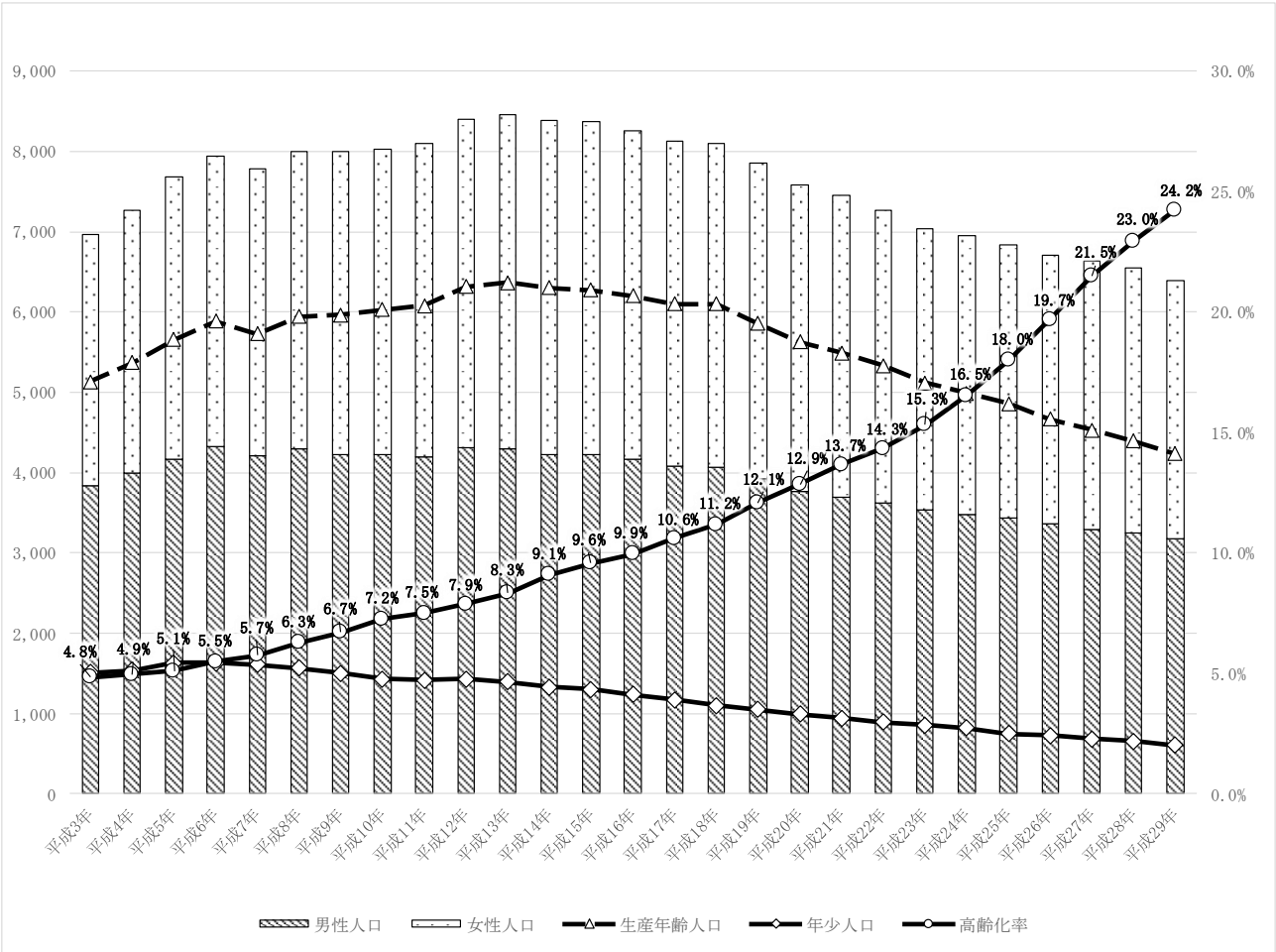


（2）校（地）区社会福祉協議会について

◇平成 2 年に設立されました。

（3）人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代 9 月時点※一部 3 月）

（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状

①ふれあい対象者	209人	③協力者のいない対象者	5人
②ふれあい協力者	174人	④緊急連絡先のない対象者	17人
		⑤協力者・緊急連絡先が共にない対象者	0人

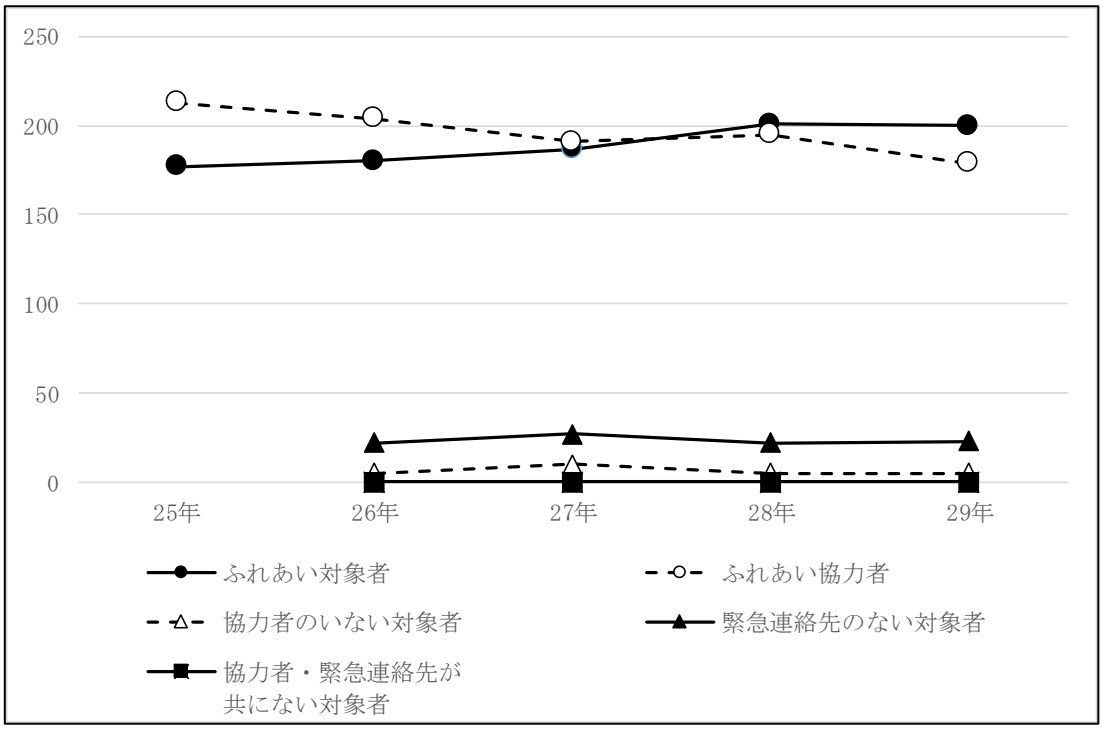
（平成 30 年 1 月末現在）

番号	自治会名	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員担当区	①	②	③	④	⑤
1	鴛野	11	12	1	1	0	1	鴛野	11	12	1	1	0
2	敷戸駅北町	1	2	0	0	0	2	敷戸駅北町・サンシャインしきど	9	8	3	0	0
3	サンシャインしきど	8	6	3	0	0							
4	敷戸	18	23	0	2	0	3	敷戸	18	23	0	2	0
5	花の木坂	1	2	0	0	0	4	大園団地・花の木坂	8	12	0	2	0
6	大園	7	10	0	2	0							
7	敷戸新町１区	39	26	0	3	0	5	敷戸新町１区	39	26	0	3	0
8	敷戸新町２区	22	10	0	1	0	6	敷戸新町２区	22	10	0	1	0
9	敷戸新町３区	21	14	0	8	0	7	敷戸新町３区	21	14	0	8	0
10	旦野原ハイツ東	33	24	0	0	0	8	旦野原ハイツ東区	33	24	0	0	0
11	旦野原ハイツ西	20	18	0	0	0	9	旦野原ハイツ西区・大学区	20	18	0	0	0
12	大分大学区	0	0	0	0	0							
13	高江ハイツ	15	14	0	0	0	10	高江ハイツ	15	14	0	0	0
14	坂詰	3	4	0	0	0	11	坂詰・東木・田園町	13	13	1	0	0
15	東木	10	9	1	0	0							
16	田園町	0	0	0	0	0							

鴛野校区のふれあい対象者推移

（平成 29 年 4 月 1 日現在）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
ふれあい対象者	177	180	187	201	200
ふれあい協力者	213	204	191	195	179
協力者のいない対象者	―	5	10	5	5
緊急連絡先のない対象者	―	22	27	22	23
協力者・緊急連絡先が共にない対象者	―	0	0	0	0



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき自治会長・民生委員などにつなげ、地域での見守りあい・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」　：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方にお願いしています

(5)高齢者サロンについて

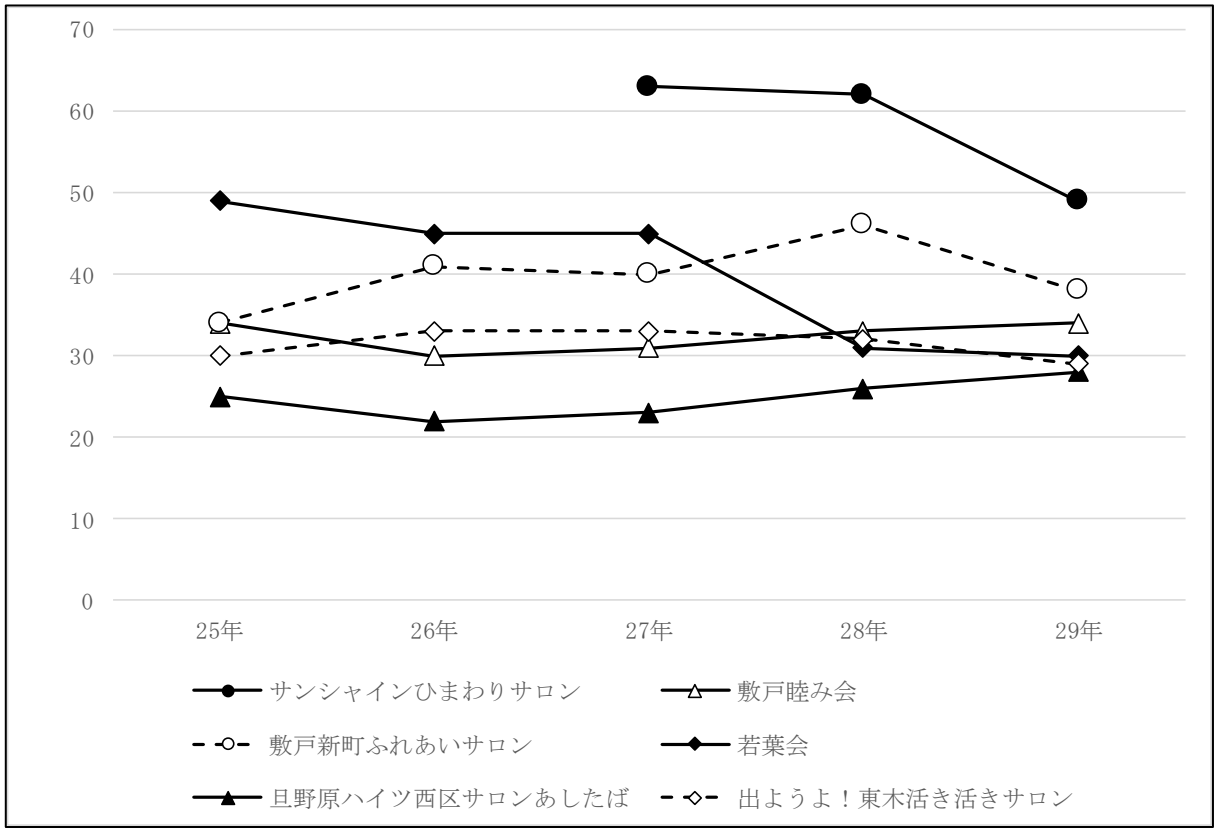
鴛野校区内にある高齢者サロンは６ヶ所です。

（平成 30 年 1 月末現在）

	自治会名	サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
1	サンシャインしきど	サンシャインひまわりサロン	サンシャインしきど公民館	18	49	平成27年8月3日
2	敷戸	敷戸睦み会	敷戸自治公民館	12	34	平成16年1月28日
3	敷戸新町１区	敷戸新町ふれあいサロン	敷戸新町集会所	12	38	平成19年6月29日
4	旦野原ハイツ東	若葉会	旦野原ハイツ公民館	22	30	平成21年5月25日
5	旦野原ハイツ西	旦野原ハイツ西区サロンあしたば	旦野原ハイツ公民館	30	28	平成21年5月25日
6	東木	出ようよ！東木活き活きサロン	東木自治区公民館	24	29	平成24年8月24日

鴛野校区での高齢者サロン参加者の推移

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
サンシャインひまわりサロン	―	―	63	62	49
敷戸睦み会	34	30	31	33	34
敷戸新町ふれあいサロン	34	41	40	46	38
若葉会	49	45	45	31	30
旦野原ハイツ西区サロンあしたば	25	22	23	26	28
出ようよ！東木活き活きサロン	30	33	33	32	29



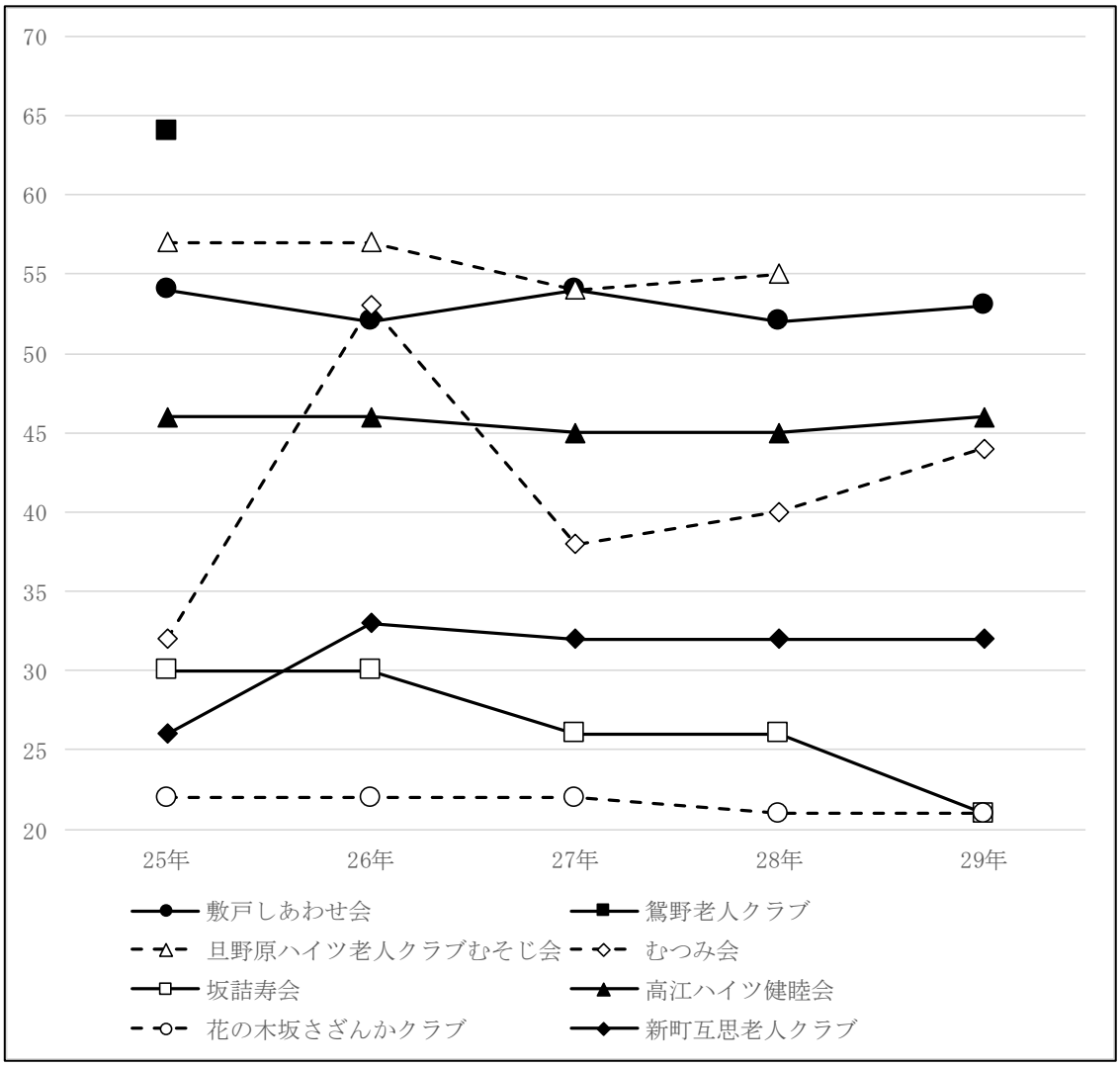
(6)老人会について

鴛野校区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは８ヶ所あります。

（平成 29 年度）

老人クラブの参加者推移

老人クラブ名	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
敷戸しあわせ会	54	52	54	52	53
鴛野老人クラブ	64	―	―	―	―
旦野原ハイツ老人クラブむそじ会	57	57	54	55	―
むつみ会	32	53	38	40	44
坂詰寿会	30	30	26	26	21
高江ハイツ健睦会	46	46	45	45	46
花の木坂さざんかクラブ	22	22	22	21	21
新町互思老人クラブ	26	33	32	32	32



第3章　ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、鴛野校区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	平成 29 年 9 月 20 日～平成 29 年 11 月 2 日
対　象	鴛野校区内のふれあい対象者　203 名 （平成 29 年 9 月 1 日現在の対象者数）
回答者数	181 名
回答率	89%
調査協力者	鴛野校区民生委員児童委員協議会

大分市社会福祉協議会では、みんなが主役のささえあいプラン（大分市地域福祉計画、大分市地域福祉活動計画）に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「地域の繋がりをつくる」「地域福祉の担い手をつくる」「課題を深刻化させない」「安心・安全をつくる」をかかげています。

今回の実態調査では、この 4 つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。

基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問

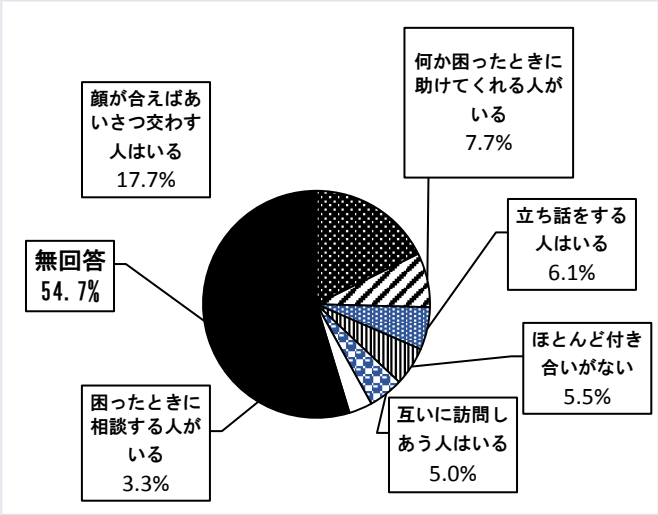
近所づきあいの程度・考え方(問 19・20)

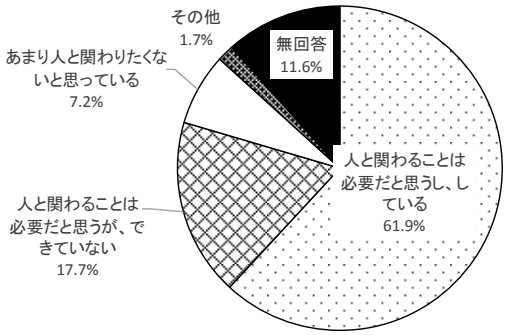
近所づきあいの程度については、「顔が合えばあいさつを交わす人はいる」が 17.7%と最も高く、次いで、「何か困ったときに助けてくれる人がいる」は 7.7%、「立ち話をする人はいる」は 6.1%の順となっている。

なお、「ほとんど付き合いがない」は 5.5%となっている。

近所づきあいについての考え方では、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 61.9%で最も高く、次いで「人と関わることは必要だと思うが、できていない」17.7%となっている。

なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 7.2%となっている。





参加している地域活動(問 21)

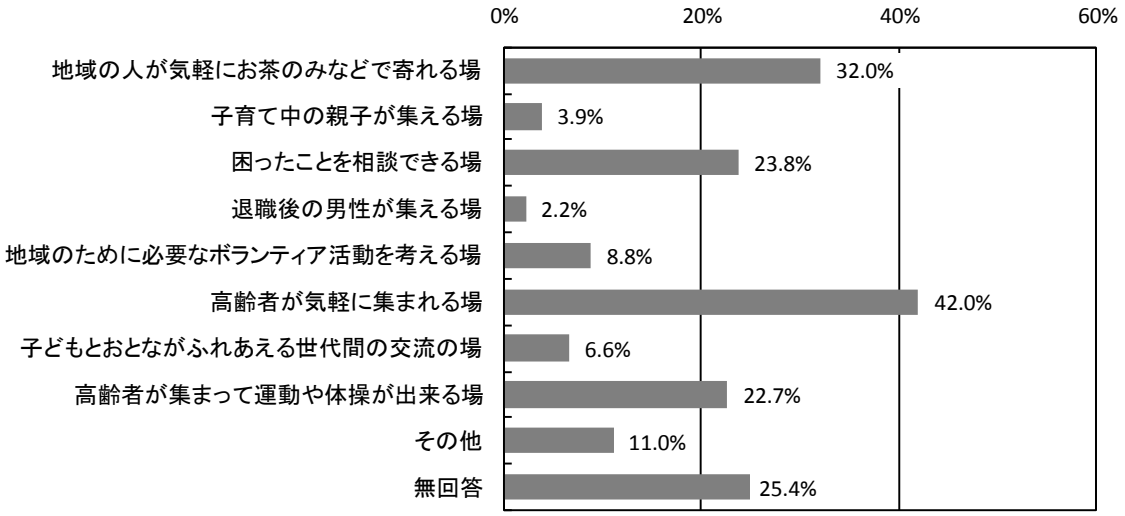
参加している地域活動をみると、「老人会活動」が 29.8%で最も高く、次いで「地域のお祭り・行事」が 24.3%、「運動や体操などの健康づくり活動」と「高齢者サロン活動」が 22.7%の順となっている。

「参加していたが、現在は参加していない」活動では「地域の役員・世話人活動」が最も割合が高くなっている。また、「参加していないが、参加してみたい」活動では「公民館講座」が、「参加していないし、参加する予定もない」活動では「ボランティア活動」及び「地域の役員・世話人活動」が最も割合が高くなっている。

なお、いずれの活動でも、「参加していないし、参加する予定もない」との回答が 30%前後となっている。

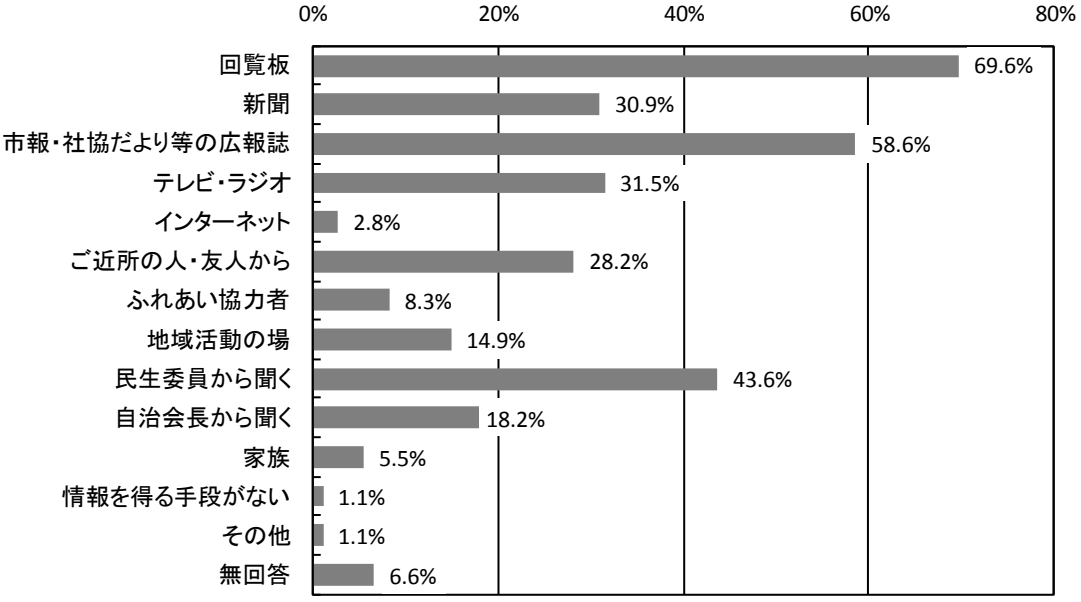
必要と思われる≪地域住民がつながる場≫（問 22）

必要と思われる≪地域住民がつながる場≫については、「高齢者が気軽に集まれる場」が 42.0%で最も高くなっている。また、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が 32.0%、「困ったことを相談できる場」が 23.8%を占めている。



情報収集の方法（問 29）

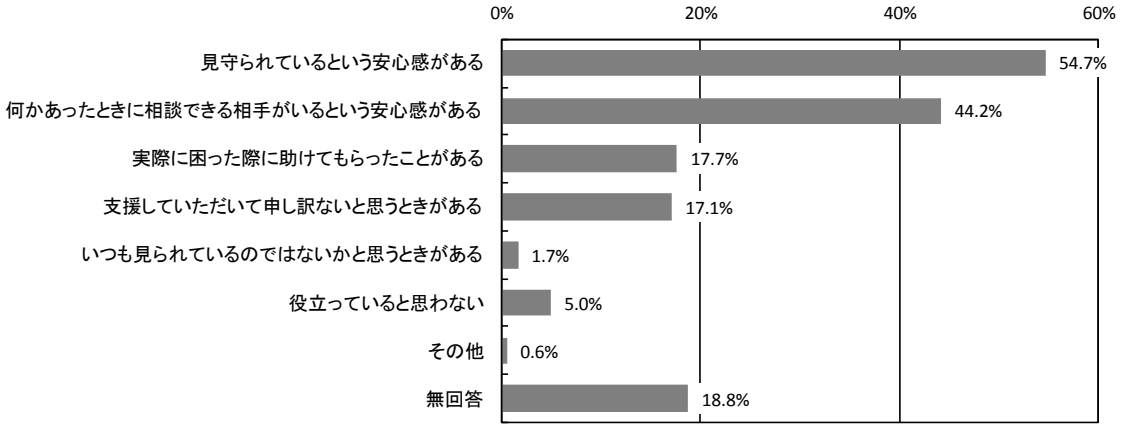
情報収集の方法については、「回覧板」が 69.6%で最も高く、次いで「市報・社協だより等の広報誌」（58.6%）、「民生委員から聞く」（43.6%）、「テレビ・ラジオ」（31.5%）、「新聞」（30.9%）の順となっている。



基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問

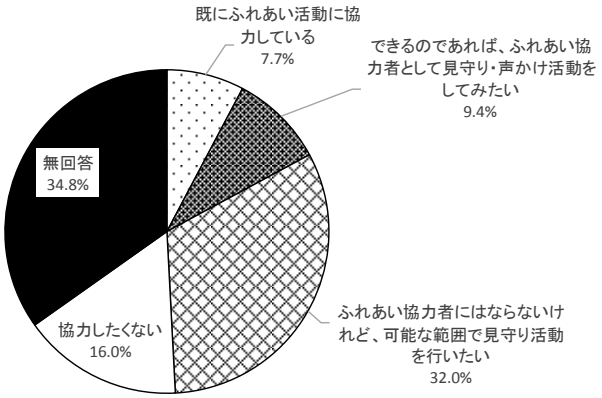
「ふれあい活動」で感じること(問 25)

「ふれあい活動」で感じることについては、「見守られているという安心感がある」が 54.7%で最も高く、次いで「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が 44.2%となっている。



ふれあい活動に協力したいと思うか(問 28)

ふれあい活動に協力したいと思うかについては、「既にふれあい活動に協力している」が 7.7%、「できるのであれば、ふれあい協力者として見守り・声かけ活動をしてみたい」が 9.4%、「ふれあい協力者にはならないけれど、可能な範囲で見守り活動を行いたい」は 32.0%を占めており、「協力したくない」は 16.0%となっている。



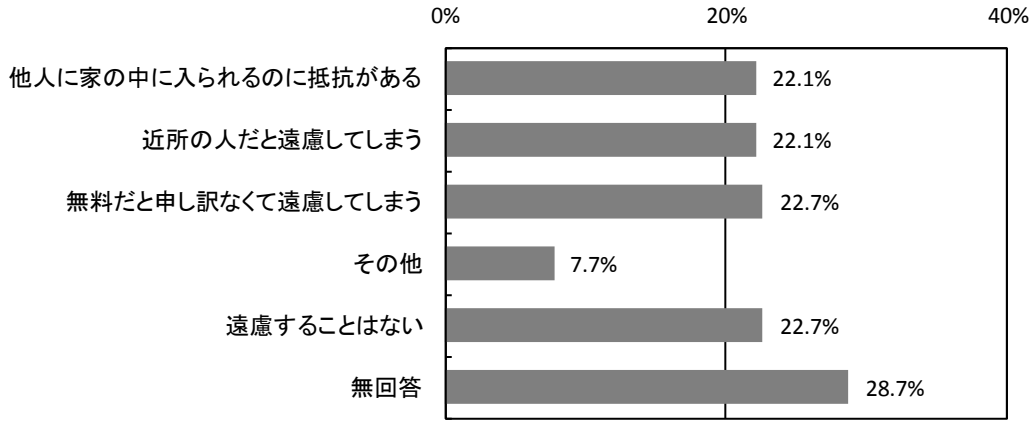
日常生活のお手伝いに力を借りたいか（問 26）

日常生活のお手伝いに力を借りたい人については、「ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい」と答える方の割合が高い。

なお、「電球の交換」及び「草刈り」においては、「誰でも良いから力を借りたい」という割合も高くなっている。

手助けを遠慮してしまう理由（問 27）

手助けを遠慮してしまう理由では、「無料だと申し訳なくて遠慮してしまう」と「遠慮することはない」（22.7%）、「他人に家の中に入られるのに抵抗がある」と「近所の人だと遠慮してしまう」（22.1%）の順に高くなっている。



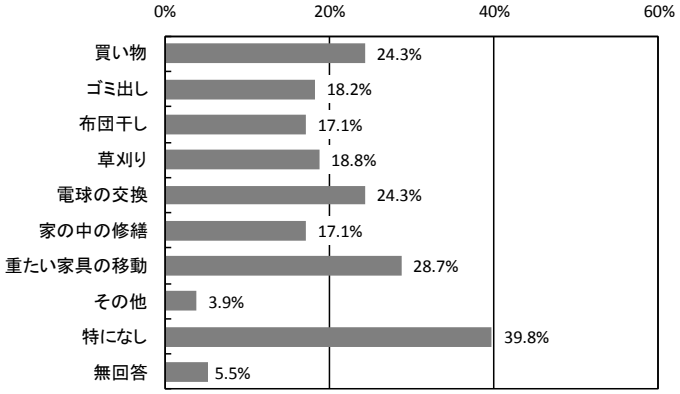
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問

日常の困りごと(問 11)

日常の困りごとについては、「特になし」が 39.8%で最も高く、次いで「重たい家具の移動」(28.7%)、「電球の交換」と「買い物」(24.3%)、「草刈り」(18.8%) となっている。

(N=181)

	回答数	割合
買い物	44	24.3%
ゴミ出し	33	18.2%
布団干し	31	17.1%
草刈り	34	18.8%
電球の交換	44	24.3%
家の中の修繕	31	17.1%
重たい家具の移動	52	28.7%
その他	7	3.9%
特になし	72	39.8%
無回答	10	5.5%

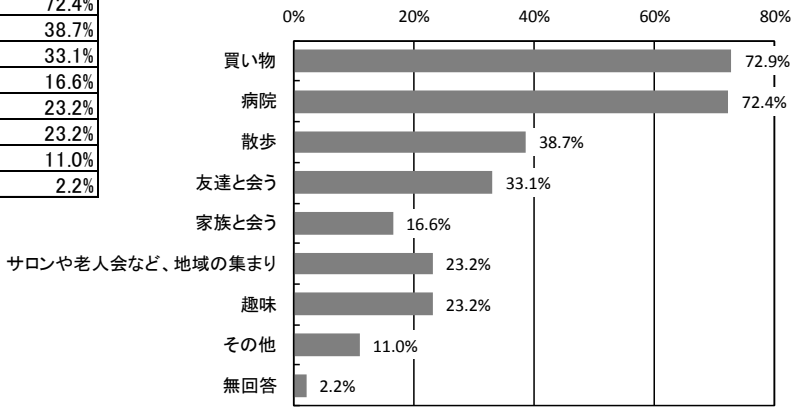


外出の理由(問 15)

外出の理由については、「買い物」が 72.9%を占めて最も高く、次いで「病院」(72.4%)、「散歩」(38.7%)、「友達と会う」(33.1%) となっている。

(N=181)

	回答数	割合
買い物	132	72.9%
病院	131	72.4%
散歩	70	38.7%
友達と会う	60	33.1%
家族と会う	30	16.6%
サロンや老人会など、地域の集まり	42	23.2%
趣味	42	23.2%
その他	20	11.0%
無回答	4	2.2%

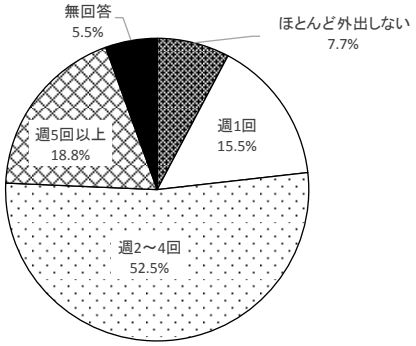


外出の頻度（問 16）

外出の頻度については、「週 2～4 回」が 52.5%と半数以上を占めて最も高くなっている。次いで「週 5 回以上」が 18.8%と高く、「週 1 回」は 15.5%、「ほとんど外出しない」は 7.7%となっている。

（N=181）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	14	7.7%
週1回	28	15.5%
週2～4回	95	52.5%
週5回以上	34	18.8%
無回答	10	5.5%



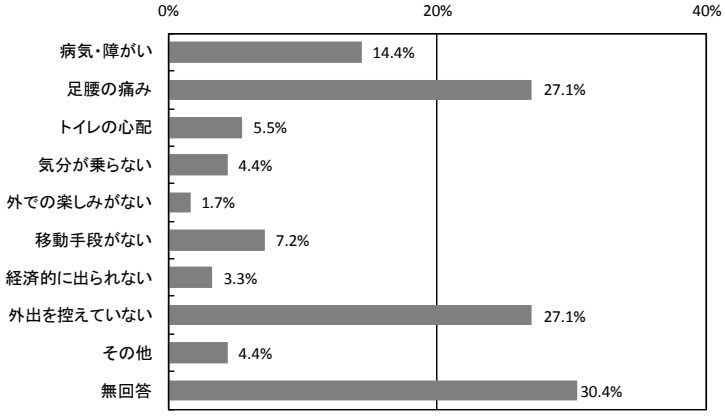
外出を控える理由（問 17）

外出を控える理由については、「足腰の痛み」が高い割合を占めている。次いで「病気・障がい」は 14.4%、「移動手段がない」は 7.2%となっている。

なお、「外出を控えていない」については 27.1%となっている。

（N=181）

	回答数	割合
病気・障がい	26	14.4%
足腰の痛み	49	27.1%
トイレの心配	10	5.5%
気分が乗らない	8	4.4%
外での楽しみがない	3	1.7%
移動手段がない	13	7.2%
経済的に出られない	6	3.3%
外出を控えていない	49	27.1%
その他	8	4.4%
無回答	55	30.4%

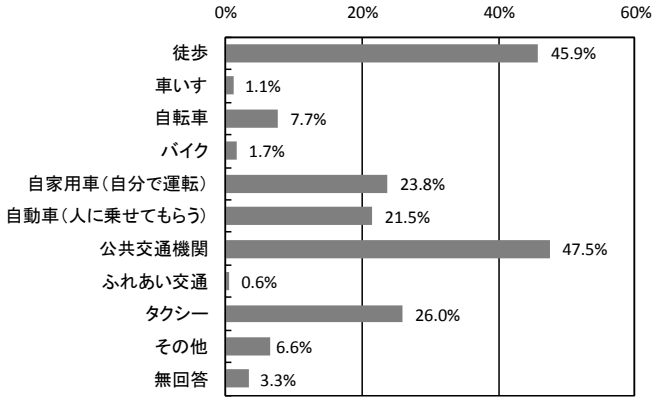


主な外出の手段（問 18）

主な外出の手段については、「公共交通機関」が 47.5%で最も高く、次いで「徒歩」（45.9%）、「タクシー」（26.0%）、「自家用車（自分で運転）」（23.8%）の順となっている。

（N=181）

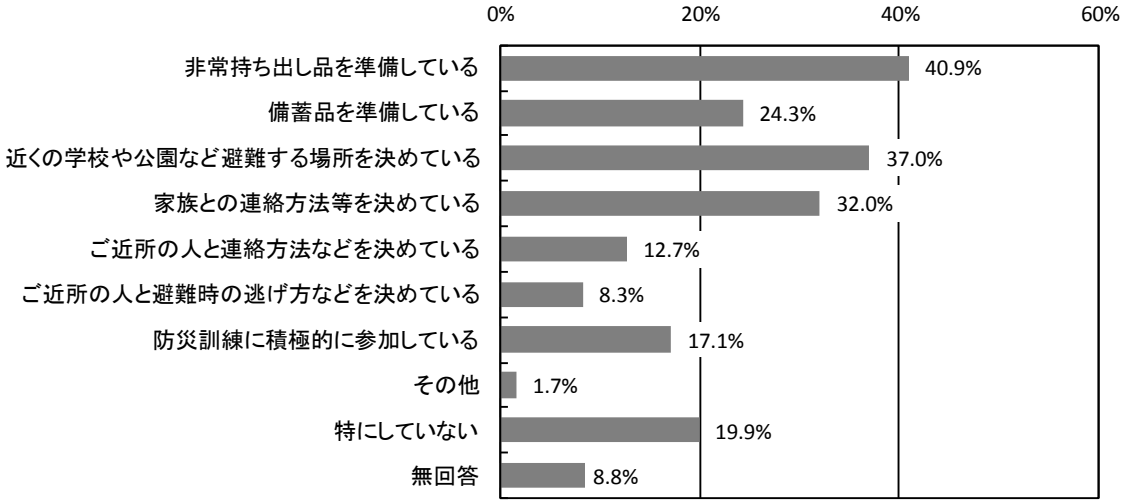
	回答数	割合
徒歩	83	45.9%
車いす	2	1.1%
自転車	14	7.7%
バイク	3	1.7%
自家用車（自分で運転）	43	23.8%
自動車（人に乗せてもらう）	39	21.5%
公共交通機関	86	47.5%
ふれあい交通	1	0.6%
タクシー	47	26.0%
その他	12	6.6%
無回答	6	3.3%



基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問

災害に対する備え（問 23）

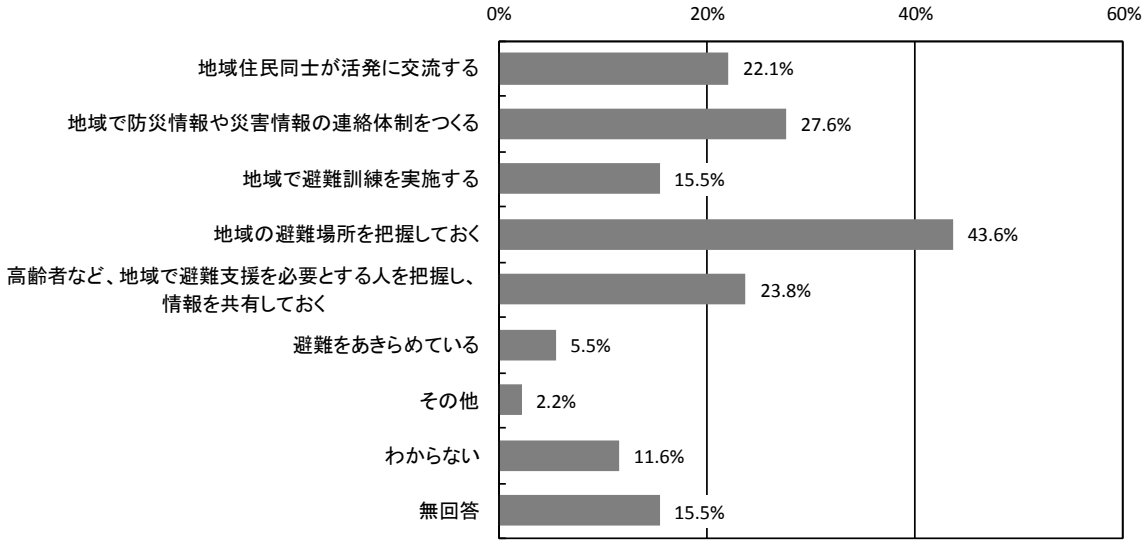
災害に対する備えについては、「非常持ち出し品を準備している」が 40.9%で最も高く、次いで「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」（37.0%）、「家族との連絡方法等を決めている」（32.0%）、「備蓄品を準備している」（24.3%）、「特にしていない」（19.9%）の順となっている。



災害に備えた地域ぐるみの準備とは（問 24）

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が 43.6%で最も高く、次いで「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」が 27.6%、「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」が 23.8%、「地域住民同士が活発に交流する」が 22.1%の順となっている。

なお、「避難をあきらめている」は 5.5%、「わからない」は 11.6%となっている。



第4章　鴛野校区の活動計画策定までのプロセス

私たちの地域でふれあい対象者への実態調査を実施し、結果からわかったことを元に、校区内の方々と、ふれあい対象者を支援をする上での実際の課題や、解決策等について話し合いを行いました。

基本目標1　地域のつながりをつくる

≪実態調査で明らかになった現状≫

●近所づきあいについて

近所づきあいについて、人と関わることが必要だと思うという人が全体の約８割でした。一方で、あまり人と関わりたくない、と思っている人も約１割います。

●参加している地域行事について

参加している人が多いベスト５は老人会活動、地域のお祭り・行事、高齢者サロン活動、運動や体操などの健康づくり活動、趣味の活動でした。参加しない理由としては、本人の意思で参加しないと決めている場合と、参加したくても出来ない場合の２パターンあるようです。

●地域に必要な「つながりの場」について

必要と思う、と答えた人が特に多かったのが「高齢者が気軽に集まれる場」、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」、「困ったことを相談できる場」、「高齢者が集まって運動や体操ができる場」でした。つながりの場として、「気軽さ」を求めている一方で、「介護予防」「相談」など目的に特化した場も求めています。

●情報収集の方法

公共のサービス（回覧板、広報誌、テレビ、新聞など）を情報源にしている人が多い一方で、インターネットについては５名しか情報源として活用されていません。地域の方々との関わりの中で、情報源として最も頼りにされているのが「民生委員」であり、ご近所の方からや地域の活動に参加した際にも情報を得ていることが実態として見えました。

≪「話し合い」の場で出た意見≫

★気軽に集まることの出来る場所について

●相談できる場、気軽に集まれる場が必要。
●老人会が無い地域の高齢者の孤立が心配。

★今ある集まる場（サロン）について

●今までは、地域の行事などにも参加していたが、年をとって参加できなくなった人もいる。
●老人会などに参加したくても、体がついていかず、参加できない人がいる。
●ふれあい対象者で、サロンに来ている人は１割程度。サロンなどに参加する人と地域の中で交流がない人で、見守りの方法を変える必要がある。
●地域の集まりは、一度来ると継続してくるようになる。きっかけを作ることが大切。
●役員のなり手がおらず廃止した老人会や、今の役員がいなくなったら後継者がおらず、立ち行かなくなる老人会がある。
●既にグループができている中に入るのは難しい。誰かフォローする人がいれば輪に入りやすくなり、参加がしやすくなるのではないか。
●参加できない理由を解消すればよいので、原因を追究すべき。

★新たな気軽に集まる場づくりについて

●サロンに参加したくても、参加できない。話し合い（交流）の場がほしい。
●空き家を使ったカフェや自治会を細分化して開催するなどの工夫が必要。
●プログラムを決めると身構えてしまうので、インスタントコーヒーなど飲み物だけ準備して、いつでも気軽におしゃべり出来るような場を作ればよいのではないか。

≪実態調査で明らかになった現状≫

●困りごとの相談相手

現在の生活の維持に関わる比較的深刻な「困りごと」については、困りごとによって、多少の違いはありますが、「家族」へ相談することが第一選択肢となっているようです。困りごとの内容が、介護保険サービス、健康面等具体的なものについては、専門職が多くなっています。

●ふれあい活動について

今回の調査対象者の約半数が、見守られているという安心感がある、何かあったときに相談できる相手がいるという安心感あると回答しています。また、実際に困ったときに助けてもらったことがあるという方も１割程度いました。

一方で、支援をしていただいて申し訳ないと感じている方や役立っていると思わない方も一定数いました。

●ふれあい活動への協力について

回答者のうち、約８割がすでに協力している、または協力してみたいと思っています。協力したくないと答えた方もいましたが、その中には、「協力したくても出来ない」と記述した方もいらっしゃいました。

●困りごとへの『手伝い』について

話し相手や買い物、ゴミ出しなどの日常的な困りごとについては、「できれば近くの人が良い」＞「誰でもいい」＞「できれば近くじゃない人が良い」という傾向にあります。また、草刈や電球の交換など、多少手間のかかる困りごとについては、「誰でもいい」＞「できれば近くの人が良い」＞「できれば近くじゃない人が良い」という傾向にあります。

「今は分からない」と答える方がそれぞれ約４割、無回答の方が約３から４割でした。

●『遠慮』の理由

遠慮してしまうと思う理由としては、「無料だと申し訳ない」「他人に家の中に入られるのに抵抗がある」、「近所の人だと遠慮してしまう」がそれぞれ約２割ありました。また、無回答の方が約３割、遠慮することはないと考えている方が約２割でした。

≪「話し合い」の場で出た意見≫

★地域の身近な相談先について

- ●班長がふれあい協力者になっているが１年交代なので相談できるような深い関係が築けない。
- ●民生委員、協力者の一人当たり見守りを担当しているふれあい対象者が多いことで、一人ひとりに深く関わる余裕が無く、深い関係が築きにくい。
- ●鴛野校区ボランティアの会のメンバーがふれあい対象者に給食サービスの利用の聞き取りをしたり、ボランティアの会の支部ごとに別途給食の提供なども行っている。そうした活動を通して、ボランティアメンバーは地域住民と顔なじみとなっている。
- ●民生委員の負担が大きくなっている。民生委員の活動をサポートしたり、後継者を育成することが必要。
- ●ふれあい協力者には、定期的な声かけは難しい。そっと見守るくらいしか出来ない。

★ふれあい活動の現状について

- ●担当区域が広かったりふれあい対象者が多かったりすると、民生委員一人では支援がいき届かない。
- ●民生委員が、校区社協のお手伝いもしていたら、負担が大きい。
- ●民生委員一人で見守りをしていると、どう対応してよいか悩むことがある。そういうときに、一緒に考えてくれる人が、同じ地域にいると心強い。

基本目標3　困りごとを深刻化させない

≪実態調査で明らかになった現状≫

●食事・掃除・洗濯について
約８～９割の方が、家族やサービス等を利用しながらも自分でできているとの回答でした。

●日常の困りごとについて
特に困ったことはないという人が約４割でした。重たい家具の移動や電球の交換、買い物では、２割以上の方が困りごとに挙げています。

●生活していく上での困りごと
自分自身の健康状態を不安に感じている方は約３割でした。次いで、生活のための収入について不安に感じている人が約１割でした。

●家の中の移動
８割以上の人が家の中の移動を問題なく出来ていると答えており、身の回りの物を使えばできる方が約１割と、全体の９割が自立して移動ができているようでした。

●外出の理由
外出の理由として多いものは病院（通院）と買い物で、それぞれ約７割でした。次いで、散歩が約４割、友達と会うが約３割と続いています。

●外出を控える理由
外出を控える理由として最も多いのが足腰の痛みで約３割でした。次いで、病気・障害が約１割と続いています。

●外出の手段
徒歩で出かける方と公共交通機関（バスや電車など）を利用する方が約半数で、タクシーを利用する方が約３割います。自家用車（自分で運転）や自動車（人に乗せてもらう）を利用する方も約２割います。移動手段が無いと答えた方は１割未満でした。

≪「話し合い」の場で出た意見≫

★移動・買い物について

●坂が多く買い物できる店や飲食店がない。高齢になると、歩いて外出や買い物ができない。

●今は、バスの通っていない一部の地域の問題だが、近所に店がない地域もあるので、今後鴛野校区全体の問題になってくると思う。

●高齢者は、買い物に行っても、荷物を持って帰ることが大変。

●店に連れて行ってくれる７人乗りのバスが来るが、高齢の一人暮らしになると、あまり買う物が無いので、行きたくても遠慮してしまう人がいる。

★認知症の対応について

●認知症の人への対応は大事。

●少し認知症が出てきたと感じたら、隣近所の人で気をつけて見守ったり、地域のボランティアで情報共有や相談をしたりしている。

★困りごとに対応する体勢について

●民生委員や自治会長、老人会、ボランティアなど様々な人が住民と関わっている。それぞれの団体や活動者が相談を受けているので、その情報をみんなで共有して、みんなで対応をしていく必要があるのではないか。

●相談を受けると、対応しなければならない。今後、誰が、どのように対応していくか？

●地域住民同士でトラブルがあったときに、直接公的機関に苦情を言う人もいる。対応をどうすればよいだろうか。

≪実態調査で明らかになった現状≫

●災害に備えた準備について

「特にしていない」という方が全体の約２割いる一方で、多くの方が何らかの対策をしています。その中で多かったのが「非常持ち出し品を準備している（約４割）」「近くの学校や公園など避難する場所を決めている（約４割）」「家族との連絡方法を決めている（約３割）」「備蓄品を準備している（約２割）」でした。防災訓練に積極的に参加している方は約２割でした。近所の関わりについては、「近所の人と連絡方法などを決めている」「ご近所の人と避難時の逃げ方などを決めている」と答えた方が全体の約１割でした。

平常時のふれあい活動については、近所の人へのつながりの必要性を感じている結果になっていますが、災害時（特に避難行動等の初動時）についてはどのような関わりになるのか、まだあまりイメージできていないのかもしれません。

●災害に備えて地域でできることについて

地域の避難場所を把握しておく（約４割）」という回答が一番多く、次いで「連絡体制づくり（約３割）」「支援が必要な人の把握と情報共有（約２割）」「住民同士の交流（約２割）」となっています。「避難をあきらめている」と答えた方は１割未満でした。具体的にどのような体制を作っていくか今後検討していくことが必要です。

≪「話し合い」の場で出た意見≫

●防災訓練での参加者が少ない。何かあった時に避難できるか心配。

●足が不自由な人は、避難訓練を行っても参加が困難。

●災害ボランティア講座に出たが、一人二人が動くだけでは災害時の対応は無理。

●避難については、自主防災会や防災士が主体となって活動するので、校区社協は避難の支援よりも災害後の生活のケアを担うべき。

●災害時の支援体制を充実させるために、福祉協力員（見守りの担い手）と要支援者をマッチング（要支援者が誰かを福祉協力員と情報共有）させると良いのでは無いか？

第5章　鴛野校区の活動計画

（1）目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

鴛野校区社協の目標１

福祉協力員（仮称）を設置し、自治会ごとの見守り体制を強化します。

実態調査を通して、困りごとに対して、身近な場での相談相手を必要としている人がいることが分かりました。一方で、現在一人の民生委員やふれあい協力者が見守りを行っているふれあい対象者が多く、相談を受けるほど短い期間では深い関係を築きにくいことが、支援する側の悩みとして話し合いの中であがりました。

そこで、地域住民が困りごとを相談しやすい関係づくりを行い、困りごとをキャッチしやすいしくみをつくるために、自治会単位で見守り活動の担い手として、「福祉協力員（仮称）」をつくり、自治会ごとの見守り体制の強化に取り組みます。

活動の方向性（重点的取り組み）

- 具体的な業務内容（「校区社協事業」と「小地域活動」）の検討
- 自治会ごとの人選と委嘱
- 研修会の実施

鴛野校区社協の目標２

地域の活動者による情報共有の充実に取り組みます。

校区内には日常の困りごとを抱えた人もいることから、日頃の見守り活動の中で、自治会長や民生委員が電球交換等の困りごとへの対応をお願いされることがあります。

また、一人の人から複数の人が別々に相談を受けることや、相談を受けた人が一人では対応できないような困りごとの相談を受けることが考えられます。

そこで、今後、福祉協力員（仮称）を新たにつくり、複数の目で見守りを行うことで、校区における困りごとを把握、対応するために、校区内の地域福祉実践者の情報共有の仕組づくりを行います。

活動の方向性（重点的取り組み）

●六組織懇談会の内容及び回数の充実

※各団体が活動する中で受けた困りごとの相談等の地域の課題を組織間で共有し、校区で集約します。

●校区内で共有した地域の課題をもとに今後の対応策等の検討

(2)計画策定メンバー

	団体名・所属	役職	氏名
1	鴛野校区社会福祉協議会	会長（自治会連合会長）	寒倉　徳之助
2	鴛野校区社会福祉協議会	副会長（校区ボランティアの会代表）	竹中　カツ子
3	鴛野校区社会福祉協議会	副会長（民生委員児童委員協議会長）	清水　覚
4	鴛野校区社会福祉協議会	事務局長兼地域福祉推進委員	吉見　千里
5	鴛野校区社会福祉協議会	理事（民生委員児童委員協議会）	工藤　実
6	鴛野校区社会福祉協議会	理事（自治会連合会）	松木田　光秋
7	鴛野校区社会福祉協議会	理事（民生委員児童委員協議会）	森田　カツヨ
8	鴛野校区社会福祉協議会	理事（老人クラブ連合会長）	小手川　裕治
9	鴛野校区社会福祉協議会	理事（自治会連合会、青少年健全育成協議会長）	秦　成美
10	鴛野校区社会福祉協議会	理事（自治会連合会、体育協会長）	甲斐　大和
11	鴛野校区社会福祉協議会	理事（鴛野校区公民館長）	首藤　洋一

(3)実施経過

開催日	内容
９月　９日（土）～ ９月１９日（火）	調査対象者整備活動
９月１９日（火）	調査員説明会
９月２０日（水）～ １１月　２日（木）	調査期間及び回収
１２月　９日（土）	実態調査結果について
１２月　９日（土） ２月１３日（火）	地域課題の把握（課題出し）
３月２４日（土）	活動目標の策定（計画案）

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。
今後とも、鴛野校区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますよう
お願い致します。

第6章　資料編

(1)他の活動紹介

地域の活性化を応援する大分市の補助事業

高齢者ファミリーサポートセンター事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	高齢者の在宅支援を提供する20歳以上の市民(援助会員)と、在宅支援を依頼する65歳以上の高齢者(依頼会員)からなる会員同士により、食事の準備や部屋の掃除、ごみの搬出等による有償ボランティアを行います。
対象地域	市内全域
対象者	65歳以上の高齢者
利用方法	ファミリーサポートセンターへ事前連絡
利用料	①平日（9：00～17：00）　1時間600円 ②休日及び上記時間帯以外の平日　1時間700円
利用実績	2,792件（平成28年度）

地域ふれあいサロン事業	
実施主体	大分市（運営主体：大分市社会福祉協議会）
活動内容	レクリエーション、体操、茶話会、季節の行事など
対象地域	市内全域
対象者	原則、該当の自治会にお住まいの概ね60歳以上の方。 ボランティアとして活動に協力する方については年齢を問わない。
利用方法	各サロンへ直接申し込み
利用料	実費のみ（各サロンによる）
利用実績	28年度　12,802人（登録者数）

市民健康づくり運動教室	
実施主体	大分市（運営主体：大分市民健康づくり運動指導者協議会）
活動内容	健康づくり運動指導者協議会において養成された指導者が、健康づくりのための運動教室を各地区の公民館等で行う。
対象地域	市内全域
対象者	誰でも良い（年齢制限なし）
利用方法	各教室へ直接申し込み
利用料	実費のみ（各教室による）
利用実績	28年度　171カ所（開催ヵ所数）

認知症カフェ運営事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	認知症の方とその家族、地域住民や専門職など誰もが集い、おしゃべりや情報交換等ができる交流の場
対象地域	市内全域
対象者	限定なし
利用方法	各カフェに直接申し込み
利用料	実費（カフェによる）
利用実績	28年度　11カ所（利用者数）

あなたが支える市民活動応援事業	
実施主体	大分市（市民協働推進課）
活動内容	ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体が、自主的に行う公益性の高い事業に対して、市民の届出（応援したい団体）に応じた補助金を交付する。
対象地域	市内全域
対象者	ボランティアグループ、NPO法人、生涯学習指導者団体、地区校区のまちづくりグループなど
利用方法	大分市人材バンクに登録した上で、応援を受けたい事業を市へ届出
利用料	
利用実績	102団体（利用団体数）

他の地域で行われている先進的な取り組み

地域通貨（ご加勢くん）を活用した軽度生活支援事業 【分類：日常的な家事・非日常的な支援】	
実施主体	こうざき校区社会福祉協議会
活動内容	草取り・買い物・ごみ出し・掃除・重い者の運搬など
対象地域	こうざき校区
対象者	こうざき校区の住民
利用方法	サポートセンターに申し込み
利用料	10分間100円　※地域通貨を活用
財源	平成27年実績 ・校（地）区社協事業費　19,800円 ・利用料収入　16,200円
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数9名（のべ利用者数64名） ・サービス利用時間　108時間40分

誰でも参加できる居場所「あらたにカフェ」 【分類：外出・交流】	
実施主体	上国東地区社会福祉協議会　あらたに会（大分県国東市）
活動内容	「あらたにカフェ」の開催（火・水・木・金） ・コーヒー１杯100円、その他メニュー有 ・健康体操やレクリエーション　など ・送迎つきの食事会（参加費400円）、買い物ツアーを月2回（第1、3木曜日実施）
対象地域	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
対象者	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
利用方法	送迎つきの食事会、買い物ツアーには事前申込が必要
利用料	無料
財源	〈初動設備〉 ・大分県里のくらし支援事業 ・大分県サロン活動等交流の場の立ち上げ支援事業（カフェ） ・大分県老人クラブ連合会　元気高齢者地域活動応援事業（食事会等） 〈活動費用〉 ⇒平成29年度は介護保険制度一般介護予防事業の予算の一部を活用
利用実績	平成28年12月～平成29年3月末の実績 カフェ　　53回開催　利用者数796名 食事会　　6回開催　利用者数126名 （参考）地域の人口491名（H28.4.1現在）

施設の地域交流スペースを活用した買い物支援事業 （地域貢献事業の一環） 【分類：外出】	
実施主体	社会福祉法人　龍和会　特別養護老人ホーム　寿志の里
活動内容	・8つの販売業者との協力による買い物の場の提供 ・自ら来られない方への支援（無料送迎）
対象地域	高江、住床、米良　※上記3地区以外から2名が利用
対象者	限定なし
利用方法	送迎のみ申し込みが必要
利用料	無料　※買い物は有料
財源	法人の施設、公用車、職員を活用した取り組みのため、ガソリン代程度の経費のみかかっている。
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数 981名（うち送迎利用者数 260人） ・年間約160,000円の売り上げ

富士見が丘お出かけ交通 【分類：外出】	
実施主体	富士見が丘連合自治会
活動内容	外出支援・買い物支援 ・外出支援についてはタクシー会社委託。買い物支援はボランティアが行う。
対象地域	富士見が丘団地内
対象者	虚弱高齢者、外出困難者
利用方法	タクシー会社に予約
利用料	1回 400円
財　　源	市・自治会補助金（廃品回収の収益金） 年間 約200,000円 ・タクシー会社への事務手数料118,800円（9,900×12月） ・利用１回あたりのタクシー会社への負担金640円 （個人負担400円、自治会補助240円）
利用実績	年間 約180回

暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」の取り組み 【分類：日常的な家事・外出・交流・非日常的な支援】	
実施主体	・暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」 ・竹田市地域包括支援センター
活動内容	・誰でもでも参加できる「寄り合いの場」 ・調理・清掃・ごみ出し・買物支援・外出支援・など
対象地域	久住町及びその近隣地域
対象者	・寄り合いの場は、特に限定なし。 ・生活支援サービスは会員加入者（年会費1,000円）
利用方法	電話で申し込み
利用料	1時間800円（30分400円）
財　　源	平成27年度 ・収入4,703,166円（市補助金、年会費、利用料等） ・支出2,847,530円
利用実績	平成28年度実績 ・会員数116名　支援回数197回

地域社会で支える外出支援活動 【分類：外出】	
実施主体	NPO法人　中原たすけあい（佐賀県）
活動内容	福祉有償運送と無償運送（もやい号）による外出支援
対象地域	①福祉有償運送（365日運行） 起点・終点が鳥栖市・みやき町であれば制限無し ②無償運送「もやい号」（毎週火・木・土AM9時～PM4時） 中原校区内
対象者	①福祉有償運送：鳥栖市、みやき町、上峰町の外出困難な会員 ②無償運送（もやい号）：中原校区内で外出に困っている会員
利用方法	申し込み
利用料	①福祉有償運送：1時間700円、1km50円 ※タクシーの約2分の1の金額 ②無償運送（もやい号）：ガソリン代実費（1回100円）
財　　源	（平成27年度） 福祉有償運送／無償運送（もやい号）／合計 収入：2,002千円／278千円／2,280千円 支出：3,600千円／799千円／4,399千円 差引：-1,598千円／-521千円／-4,399千円 ※収支不足額は寄付金、他事業収益で補てん
利用実績	平成27年度実績 ①福祉有償運送：利用者数55人（延べ利用者数2,177人） ②無償運送（もやい号）：利用者数41人 （延べ利用者数2,788人）

(2)実態調査の項目

あなたご自身についておうかがいします。

(問１）あなたの性別を教えてください。

１）男性　　２）女性

(問２）あなたの年齢を教えてください。

１）50 歳未満　　２）50～59 歳　　３）60～64 歳　　４）65～69 歳

５）70～74 歳　　６）75～79 歳　　７）80～84 歳　　８）85 歳以上

(問３）居住形態を教えてください。

１）一軒家（一戸建て）・持ち家　　２）一軒家（一戸建て）・借家

３）集合住宅・持ち家　　４）集合住宅・借家　　５）公営住宅

６）その他（　　）

(問４）家族構成を教えてください。

１）ひとり暮らし　　２）夫婦のみ　　３）子どもと同居　　４）兄弟・親族と同居

５）その他（　　）

(問５）今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

１）１年未満　　２）１年以上～３年未満　　３）３年以上～５年未満

４）５年以上～10 年未満　　５）１０年以上～20 年未満　　６）２０年以上

(問６）あなたの健康状態はどうですか。（○はいくつでも）

１）健康である　　２）通院している　　３）通院していないが、体調がすぐれない

４）歩くのが不自由　　５）寝たきり状態

６）その他（　　）

日常の生活についてお尋ねします。

(問７）食事は一人で出来ますか。

１）問題なくできる　　２）見守りや声かけがあれば出来る　　３）一部介助が必要

４）ほとんど介助が必要

(問８）①毎日の食事は主にどのように準備していますか。

１）自分や同居の家族が作っている　　２）配食サービスや弁当等を買っている

３）別居の家族に作ってもらう　　４）近所の人や知人に作ってもらう

５）ヘルパーさん等に作ってもらう（サービス利用）

６）その他（　　）

②食事について困っていることがあれば、ご記入ください。

（　　）

（問９）①家の中の掃除は主にどのようにしていますか。

１）自分や同居の家族がしている　　２）掃除業者に依頼する
３）別居の家族にしてもらう　　４）近所の人や知人にしてもらう
５）ヘルパーさん等に頼む（サービス利用）
６）その他（　　）
７）特に掃除はしない

②ご家庭での掃除に関して困っていることがあれば、ご記入ください。

（問１０）①洗濯は主にどのようにしていますか。

１）自分や同居の家族がしている　　２）クリーニング屋を利用
３）別居の家族にしてもらう　　４）近所の人や知人にしてもらう
５）ヘルパーさん等に頼む（サービス利用）
６）その他（　　）

②ご家庭での洗濯に関して困っていることがあれば、ご記入ください。

（問１１）日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）買い物　　２）ゴミ出し　　３）布団干し　　４）草刈り
５）電球の交換　　６）家の中の修繕　　７）重たい家具の移動
８）その他（　　）
９）特になし

（問１２）問１１以外で、その他に困ったと思うことがあれば教えてください。
（○はいくつでも）

１）健康保険や高齢者医療のこと　　２）税金・公共料金（電気・ガス・水道）が払えない
３）介護保険サービス利用方法　　４）生活のための収入が足りない
５）家族の介護のこと　　６）子どもや孫など身内のこと
７）自分自身の健康状態　　８）人間関係がうまくいかない
９）頼れる人がいない
10）その他（　　）
11）特になし

（問１３）A～Hまでのそれぞれの困りごとで、あなたが困ったときに相談する相手を1～11 の中からあてはまるものに全て○をしてください。

	同居している家族・親族	同居していない家族・親族	近所に住んでいる友人・知人	近所以外に住んでいる友人・知人	ふれあい協力者	民生委員	自治会役員	医師・看護師など	地域包括支援センター	ヘルパー・ケアマネ	相談できる人はいない
A　健康保険や高齢者医療のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
B　税金・公共料金（電気・ガス・水道）が払えない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C　介護保険サービス利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
D　生活のための収入が足りない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
E　家族の介護のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
F　子どもや孫など身内のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
G　自分自身の健康状態について	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
H　人間関係がうまくいかない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

日常的な外出についてお尋ねします

（問１４）家の中での移動は一人でできますか。

１）問題なくできる　　２）見守りや声かけがあれば出来る
３）身の周りのものを使えば出来る　４）一部介助が必要　　５）ほとんど介助が必要

（問１５）どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（○はいくつでも）

１）買い物　　２）病院　　３）散歩　　４）友達と会う　　５）家族と会う
６）サロンや老人会など、地域の集まり　７）趣味
８）その他（　　）

（問１６）お出かけの頻度はどの位ですか。

１）ほとんど外出しない　　２）週１回　　３）週２～４回　　４）週５回以上

（問１７）外出を控える理由があれば教えてください。（○はいくつでも）

１）病気、障がい　　２）足腰の痛み　　３）トイレの心配　　４）気分が乗らない
５）外での楽しみがない　　６）移動手段がない　　７）経済的に出られない
８）外出を控えていない　　９）その他（　　）

（問１８）外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

１）徒歩　　２）車いす　　３）自転車　　４）バイク
５）自家用車（自分で運転）　　６）自動車（人に乗せてもらう）
７）公共交通機関（バス、電車）　８）ふれあい交通　　９）タクシー
10）その他（　　）

ご近所付き合いについてお尋ねします

（問１９）あなたは、日頃、ご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

１）何か困ったときに助けてくれる人がいる　　２）困ったときに相談する人がいる
３）互いに訪問しあう人はいる　　４）立ち話をする人はいる
５）顔が合えばあいさつを交わす人はいる　　６）ほとんど付き合いがない

（問２０）日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

１）人と関わることは必要だと思うし、している
２）人と関わることは必要だと思うが、できていない
３）あまり人と関わりたくないと思っている
４）その他（　　）

（問２１）①以下のＡ～Ｉのそれぞれの活動で、お住まいの地域でのあなたの参加状況について、1～4 のうち、あてはまるものにそれぞれひとつ○をしてください。

	参加している	参加していたが、現在は参加していない	参加していないが、参加してみたい	参加していないし、参加する予定もない
Ａ　老人会活動	1	2	3	4
Ｂ　婦人会活動	1	2	3	4
Ｃ　地域の役員・世話人活動	1	2	3	4
Ｄ　公民館講座	1	2	3	4
Ｅ　趣味の活動	1	2	3	4
Ｆ　ボランティア活動	1	2	3	4
Ｇ　高齢者サロン活動	1	2	3	4
Ｈ　地域のお祭り・行事	1	2	3	4
Ｉ　運動や体操などの健康づくり活動	1	2	3	4

②　①で、「参加していない（2～4）」と答えた方は、理由をお聞かせください。（○はいくつでも）

１）自分の関心のある活動ではないから　　２）忙しくて時間がない
３）体調がすぐれない　　４）外出が不自由
５）家族の反対　　６）その他（　　）

（問２２）あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場
２）子育て中の親子が集える場
３）困ったことを相談できる場
４）退職後の男性が集える場
５）地域のために必要なボランティア活動を考える場
６）高齢者が気軽に集まれる場
７）子どもとおとながふれあえる世代間の交流の場
８）高齢者が集まって運動や体操が出来る場
９）その他（　　）

（問２３）災害に対してあなたはどんな備えをしていますか。（○はいくつでも）

１）非常持ち出し品を準備している（非常食・懐中電灯・ラジオなど）
２）備蓄品を準備している（飲食料、衣類、洗面具など）
３）近くの学校や公園など避難する場所を決めている
４）家族との連絡方法等を決めている
５）ご近所の人と連絡方法などを決めている
６）ご近所の人と避難時の逃げ方などを決めている
７）防災訓練に積極的に参加している
８）その他（　　）
９）特にしていない

（問２４）災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域住民同士が活発に交流する
２）地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
３）地域で避難訓練を実施する
４）地域の避難場所を把握しておく
５）高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
６）避難をあきらめている
７）その他（　　）
８）わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします

（問２５）住民活動の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

１）見守られているという安心感がある
２）何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
３）実際に困った際に助けてもらったことがある
４）支援していただいて申し訳ないと思うときがある
５）いつも見られているのではないかと思うときがある
６）役立っていると思わない
７）その他（　　）

（問２６）Ａ～Ｉのそれぞれの困りごとについて、自分や同居の家族が、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。１～５のあてはまるものに、それぞれ１つ○をしてください。

	誰でも良いから力を借りたい。	ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい。	ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい。	誰からも力を借りたくない。	今はわからない。
Ａ　買い物	１	２	３	４	５
Ｂ　ゴミ出し	１	２	３	４	５
Ｃ　布団干し	１	２	３	４	５
Ｄ　草刈り	１	２	３	４	５
Ｅ　電球の交換	１	２	３	４	５
Ｆ　家の中の修繕	１	２	３	４	５
Ｇ　重たい家具の移動	１	２	３	４	５
Ｈ　外出	１	２	３	４	５
Ｉ　話し相手	１	２	３	４	５

（問２７）問２６のような、力を借りることについて、以下の理由で遠慮してしまうことはあると思いますか。（○はいくつでも）

１）他人に家の中に入られるのに抵抗がある
２）近所の人だと遠慮してしまう
３）無料だと申し訳なくて遠慮してしまう
４）その他（　　）
５）遠慮することはない

（問２８）あなたは「ふれあい活動（見守り・声かけ活動）」に協力してみたいと思いますか。

１）既にふれあい活動（見守り・声かけ活動）に協力している
２）できるのであれば、ふれあい協力者として見守り・声かけ活動をしてみたい
３）ふれあい協力者にはならないけれど、可能な範囲で見守り活動を行いたい
４）協力したくない

（問２９）地域の各団体の活動については、どのように情報を得ていますか。
（○はいくつでも）

１）回覧板　２）新聞　３）市報・社協だより等の広報誌　４）テレビ・ラジオ
５）インターネット　５）ご近所の人・友人から　６）ふれあい協力者
７）地域活動（サロン等）の場　８）民生委員から聞く　９）自治会長から聞く
１０）家族　１１）情報を得る手段がない
１２）その他（　　）

（問 30）最後に、感想や意見があればご自由にお書き下さい。

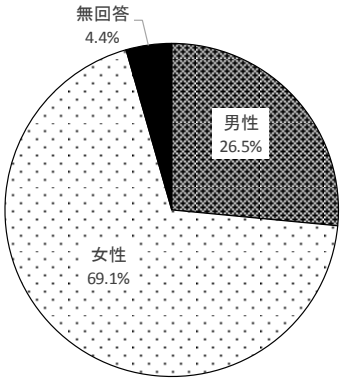
調査へご協力いただき、ありがとうございました。

(3)実態調査集計結果

問 1	あなたの性別を教えてください。

（N=181）

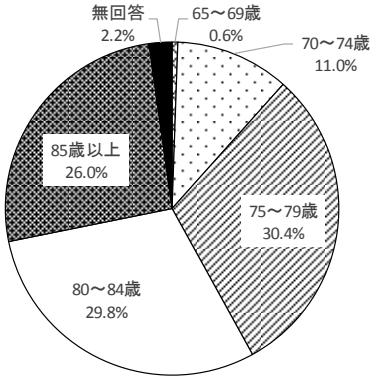
	回答数	割合
男性	48	26.5%
女性	125	69.1%
無回答	8	4.4%



問 2	あなたの年齢を教えてください。

（N=181）

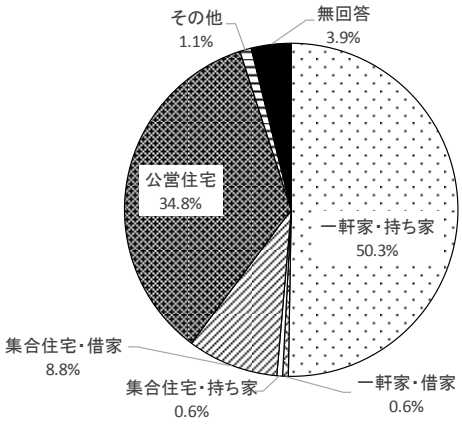
	回答数	割合
50歳未満	0	0.0%
50～59歳	0	0.0%
60～64歳	0	0.0%
65～69歳	1	0.6%
70～74歳	20	11.0%
75～79歳	55	30.4%
80～84歳	54	29.8%
85歳以上	47	26.0%
無回答	4	2.2%



問 3	居住形態を教えてください。

（N=181）

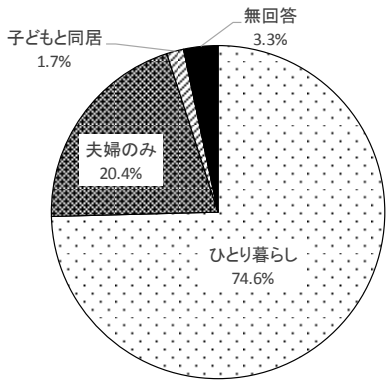
	回答数	割合
一軒家・持ち家	91	50.3%
一軒家・借家	1	0.6%
集合住宅・持ち家	1	0.6%
集合住宅・借家	16	8.8%
公営住宅	63	34.8%
その他	2	1.1%
無回答	7	3.9%



問 4	家族構成を教えてください。

（N=181）

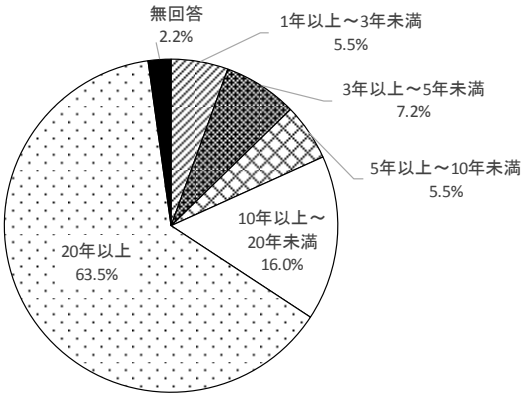
	回答数	割合
ひとり暮らし	135	74.6%
夫婦のみ	37	20.4%
子どもと同居	3	1.7%
兄弟・親族と同居	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	6	3.3%



問 5	今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

（N=181）

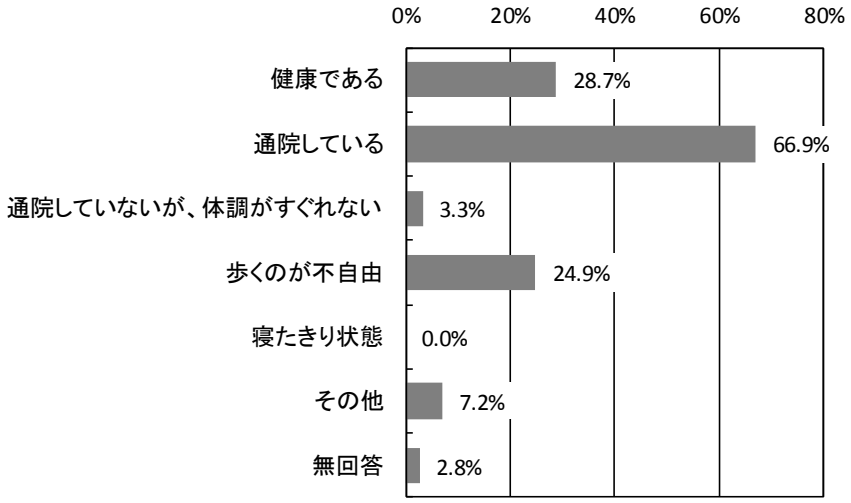
	回答数	割合
1年未満	0	0.0%
1年以上～3年未満	10	5.5%
3年以上～5年未満	13	7.2%
5年以上～10年未満	10	5.5%
10年以上～20年未満	29	16.0%
20年以上	115	63.5%
無回答	4	2.2%



問 6	あなたの健康状態はどうですか。（○はいくつでも）

（N=181）

	回答数	割合
健康である	52	28.7%
通院している	121	66.9%
通院していないが、体調がすぐれない	6	3.3%
歩くのが不自由	45	24.9%
寝たきり状態	0	0.0%
その他	13	7.2%
無回答	5	2.8%



※複数回答

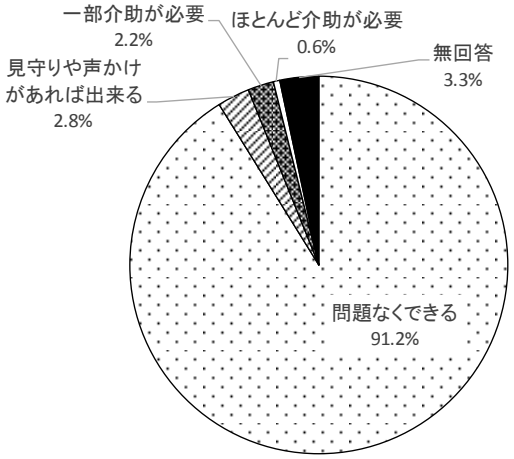
（%）

		サンプル数	健康である	通院している	通院していないが、体調がすぐれない	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他	無回答
全　体		181	28.7	66.9	3.3	24.9	—	7.2	2.8
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	1	—	—	100.0	—	—	—	—
	70～74歳	20	35.0	70.0	—	20.0	—	5.0	5.0
	75～79歳	55	36.4	61.8	5.5	12.7	—	10.9	—
	80～84歳	54	29.6	74.1	—	24.1	—	1.9	—
	85歳以上	47	19.1	68.1	4.3	44.7	—	10.6	2.1

問 7	食事は一人で出来ますか。

（N=181）

	回答数	割合
問題なくできる	165	91.2%
見守りや声かけがあれば出来る	5	2.8%
一部介助が必要	4	2.2%
ほとんど介助が必要	1	0.6%
無回答	6	3.3%



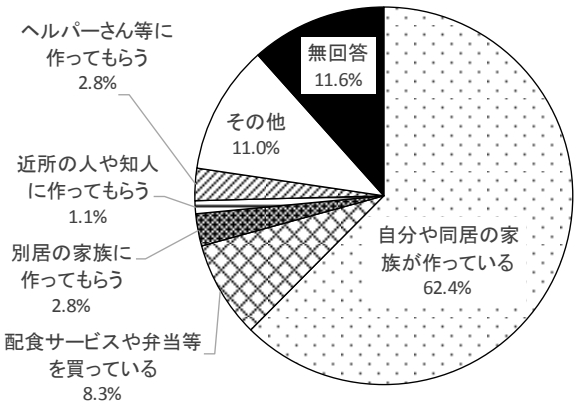
（%）

		サンプル数	問題なくできる	見守りや声かけがあれば出来る	一部介助が必要	ほとんど介助が必要	無回答
全　　体		181	91.2	2.8	2.2	0.6	3.3
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—
	65～69歳	1	100.0	—	—	—	—
	70～74歳	20	100.0	—	—	—	—
	75～79歳	55	94.5	—	1.8	1.8	1.8
	80～84歳	54	96.3	—	1.9	—	1.9
	85歳以上	47	83.0	10.6	4.3	—	2.1

問 8	毎日の食事は主にどのように準備していますか。

（N=181）

	回答数	割合
自分や同居の家族が作っている	113	62.4%
配食サービスや弁当等を買っている	15	8.3%
別居の家族に作ってもらう	5	2.8%
近所の人や知人に作ってもらう	2	1.1%
ヘルパーさん等に作ってもらう	5	2.8%
その他	20	11.0%
無回答	21	11.6%



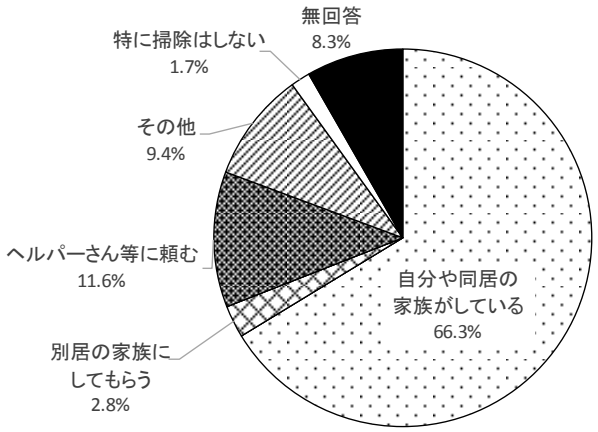
（%）

		サンプル数	自分や同居の家族が作っている	配食サービスや弁当等を買っている	別居の家族に作ってもらう	近所の人や知人に作ってもらう	ヘルパーさん等に作ってもらう	その他	無回答
全　体		181	62.4	8.3	2.8	1.1	2.8	11.0	11.6
性別	男性	48	64.6	14.6	2.1	2.1	4.2	8.3	4.2
	女性	125	64.0	6.4	2.4	0.8	2.4	12.0	12.0

問 9	家の中の掃除は主にどのようにしていますか。

（N=181）

	回答数	割合
自分や同居の家族がしている	120	66.3%
掃除業者に依頼する	0	0.0%
別居の家族にしてもらう	5	2.8%
近所の人や知人にしてもらう	0	0.0%
ヘルパーさん等に頼む	21	11.6%
その他	17	9.4%
特に掃除はしない	3	1.7%
無回答	15	8.3%



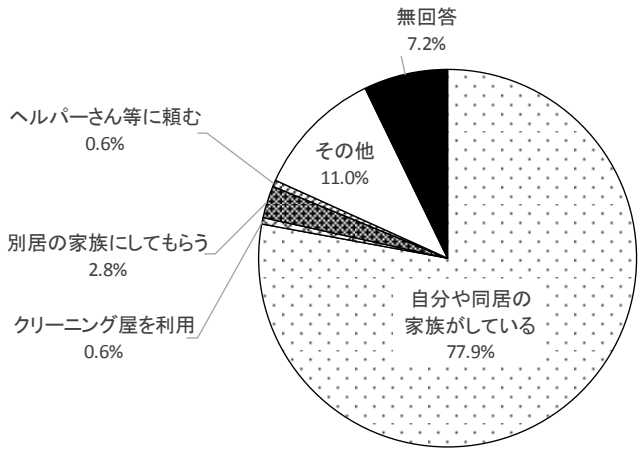
（%）

		サンプル数	自分や同居の家族がしている	掃除業者に依頼する	別居の家族にしてもらう	近所の人や知人にしてもらう	ヘルパーさん等に頼む	その他	特に掃除はしない	無回答
全　体		181	66.3	―	2.8	―	11.6	9.4	1.7	8.3
性別	男性	48	77.1	―	2.1	―	6.3	4.2	4.2	6.3
	女性	125	65.6	―	2.4	―	12.8	11.2	0.8	7.2

問 10	洗濯は主にどのようにしていますか。

（N=181）

	回答数	割合
自分や同居の家族がしている	141	77.9%
クリーニング屋を利用	1	0.6%
別居の家族にしてもらう	5	2.8%
近所の人や知人にしてもらう	0	0.0%
ヘルパーさん等に頼む	1	0.6%
その他	20	11.0%
無回答	13	7.2%



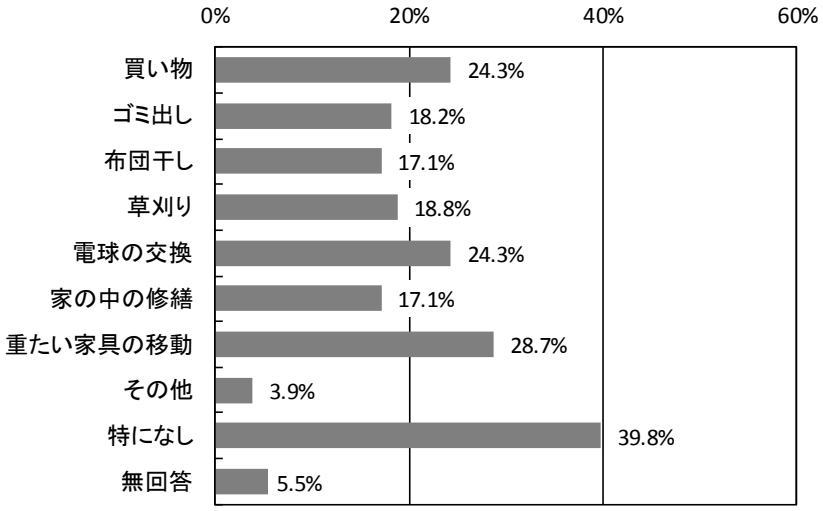
（%）

		サンプル数	自分や同居の家族がしている	クリーニング屋を利用	別居の家族にしてもらう	近所の人や知人にしてもらう	ヘルパーさん等に頼む	その他	無回答
全体		181	77.9	0.6	2.8	―	0.6	11.0	7.2
性別	男性	48	87.5	―	2.1	―	―	6.3	4.2
	女性	125	76.8	0.8	2.4	―	0.8	13.6	5.6

問 11	日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

（N=181）

	回答数	割合
買い物	44	24.3%
ゴミ出し	33	18.2%
布団干し	31	17.1%
草刈り	34	18.8%
電球の交換	44	24.3%
家の中の修繕	31	17.1%
重たい家具の移動	52	28.7%
その他	7	3.9%
特になし	72	39.8%
無回答	10	5.5%



※複数回答

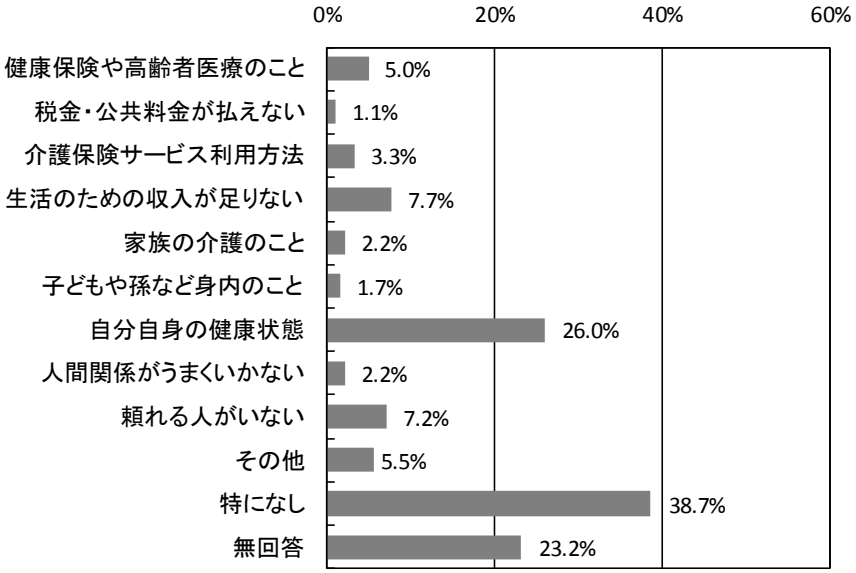
（%）

		サンプル数	買い物	ゴミ出し	布団干し	草刈り	電球の交換	家の中の修繕	重たい家具の移動	その他	特になし	無回答
全　体		181	24.3	18.2	17.1	18.8	24.3	17.1	28.7	3.9	39.8	5.5
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
	70～74歳	20	25.0	5.0	10.0	10.0	15.0	15.0	25.0	5.0	40.0	—
	75～79歳	55	16.4	10.9	7.3	9.1	23.6	10.9	27.3	1.8	54.5	3.6
	80～84歳	54	24.1	24.1	25.9	24.1	24.1	18.5	33.3	5.6	35.2	3.7
	85歳以上	47	36.2	27.7	23.4	29.8	29.8	25.5	29.8	4.3	29.8	6.4

問 12	問 11 以外で、その他に困ったと思うことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

（N=181）

	回答数	割合
健康保険や高齢者医療のこと	9	5.0%
税金・公共料金が払えない	2	1.1%
介護保険サービス利用方法	6	3.3%
生活のための収入が足りない	14	7.7%
家族の介護のこと	4	2.2%
子どもや孫など身内のこと	3	1.7%
自分自身の健康状態	47	26.0%
人間関係がうまくいかない	4	2.2%
頼れる人がいない	13	7.2%
その他	10	5.5%
特になし	70	38.7%
無回答	42	23.2%



※複数回答

（%）

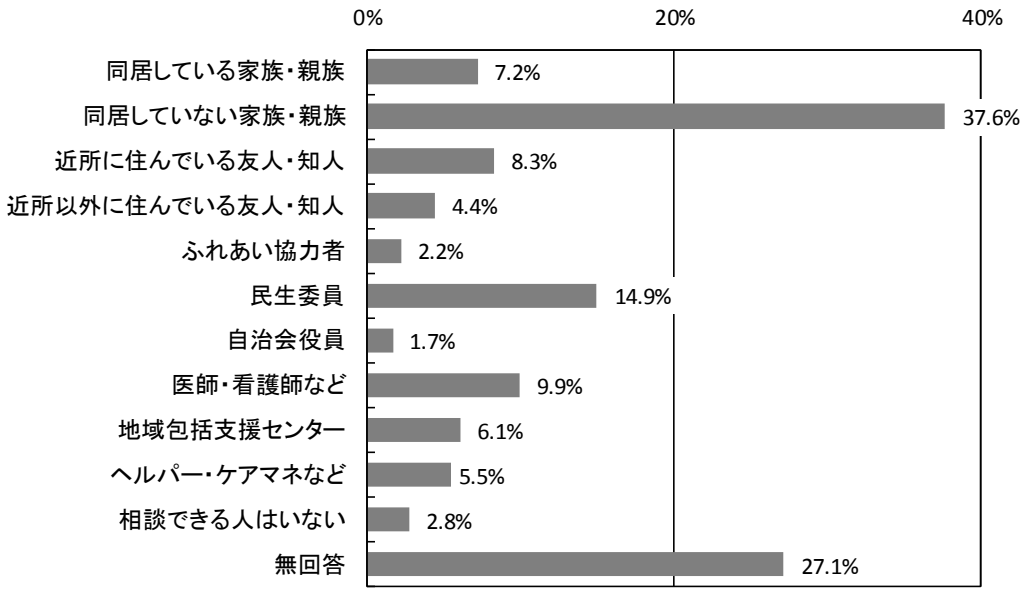
		サンプル数	健康保険や高齢者医療のこと	税金・公共料金が払えない	介護保険サービス利用方法	生活のための収入が足りない	家族の介護のこと	子どもや孫など身内のこと	自分自身の健康状態	人間関係がうまくいかない	頼れる人がいない	その他	特になし	無回答
全　体		181	5.0	1.1	3.3	7.7	2.2	1.7	26.0	2.2	7.2	5.5	38.7	23.2
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
	70～74歳	20	—	5.0	—	10.0	—	5.0	40.0	5.0	20.0	5.0	40.0	15.0
	75～79歳	55	7.3	1.8	7.3	10.9	—	—	21.8	1.8	1.8	3.6	40.0	29.1
	80～84歳	54	3.7	—	3.7	7.4	3.7	1.9	20.4	1.9	13.0	9.3	40.7	18.5
	85歳以上	47	6.4	—	—	4.3	2.1	2.1	31.9	2.1	2.1	4.3	38.3	21.3

問 13	A～H までのそれぞれの困りごとで、あなたが困ったときに相談する相手全てに○をしてください。

【A.健康保険や高齢者医療のこと】

（N=181）

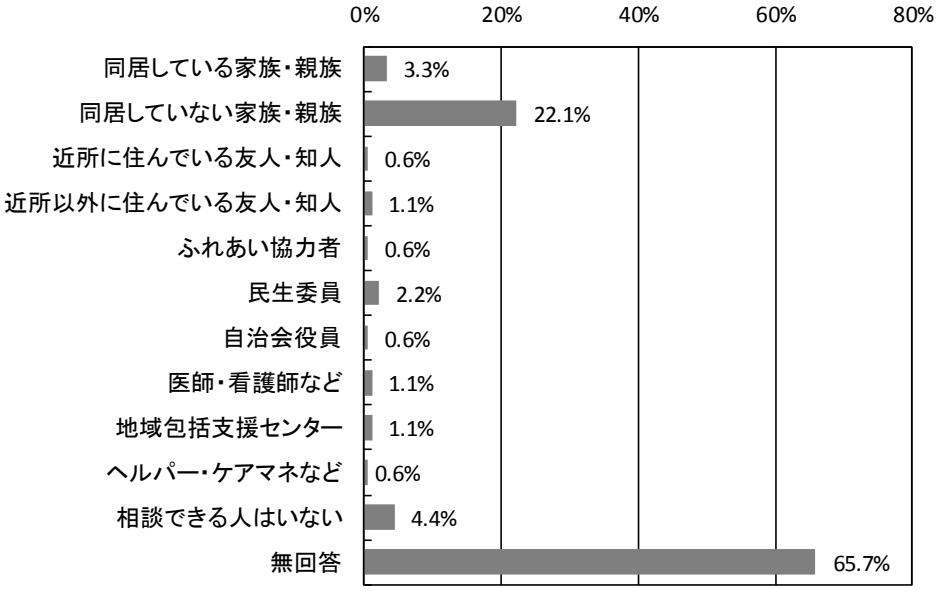
	回答数	割合
同居している家族・親族	13	7.2%
同居していない家族・親族	68	37.6%
近所に住んでいる友人・知人	15	8.3%
近所以外に住んでいる友人・知人	8	4.4%
ふれあい協力者	4	2.2%
民生委員	27	14.9%
自治会役員	3	1.7%
医師・看護師など	18	9.9%
地域包括支援センター	11	6.1%
ヘルパー・ケアマネなど	10	5.5%
相談できる人はいない	5	2.8%
無回答	49	27.1%



【B.税金・公共料金（電気・ガス・水道）が払えない】

（N=181）

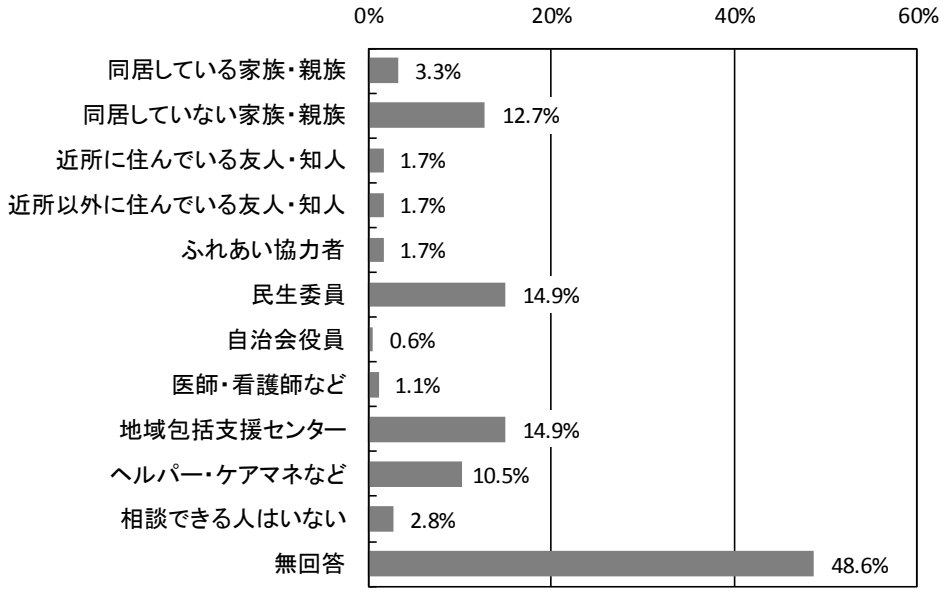
	回答数	割合
同居している家族・親族	6	3.3%
同居していない家族・親族	40	22.1%
近所に住んでいる友人・知人	1	0.6%
近所以外に住んでいる友人・知人	2	1.1%
ふれあい協力者	1	0.6%
民生委員	4	2.2%
自治会役員	1	0.6%
医師・看護師など	2	1.1%
地域包括支援センター	2	1.1%
ヘルパー・ケアマネなど	1	0.6%
相談できる人はいない	8	4.4%
無回答	119	65.7%



【C.介護保険サービス利用】

（N=181）

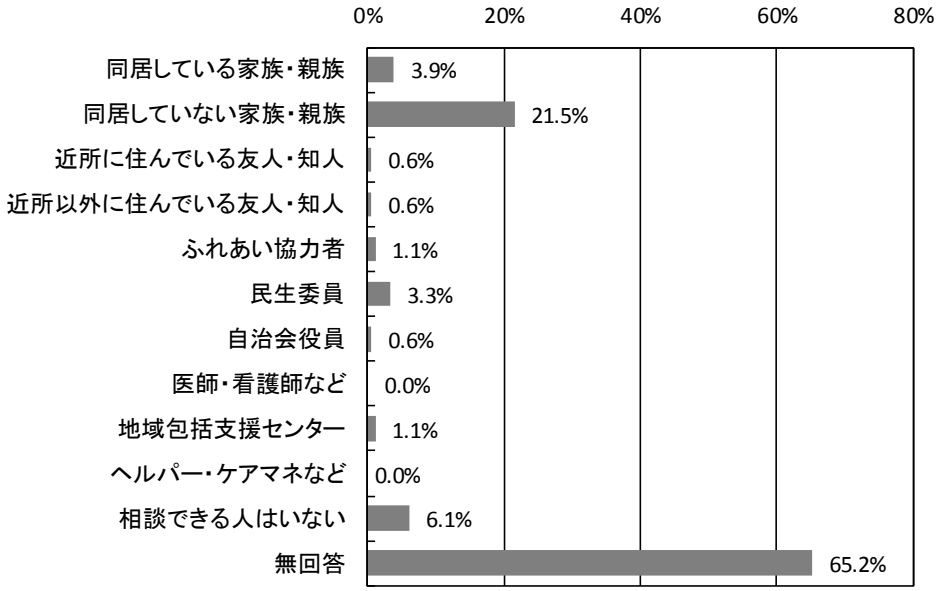
	回答数	割合
同居している家族・親族	6	3.3%
同居していない家族・親族	23	12.7%
近所に住んでいる友人・知人	3	1.7%
近所以外に住んでいる友人・知人	3	1.7%
ふれあい協力者	3	1.7%
民生委員	27	14.9%
自治会役員	1	0.6%
医師・看護師など	2	1.1%
地域包括支援センター	27	14.9%
ヘルパー・ケアマネなど	19	10.5%
相談できる人はいない	5	2.8%
無回答	88	48.6%



【D.生活のための収入が足りない】

（N=181）

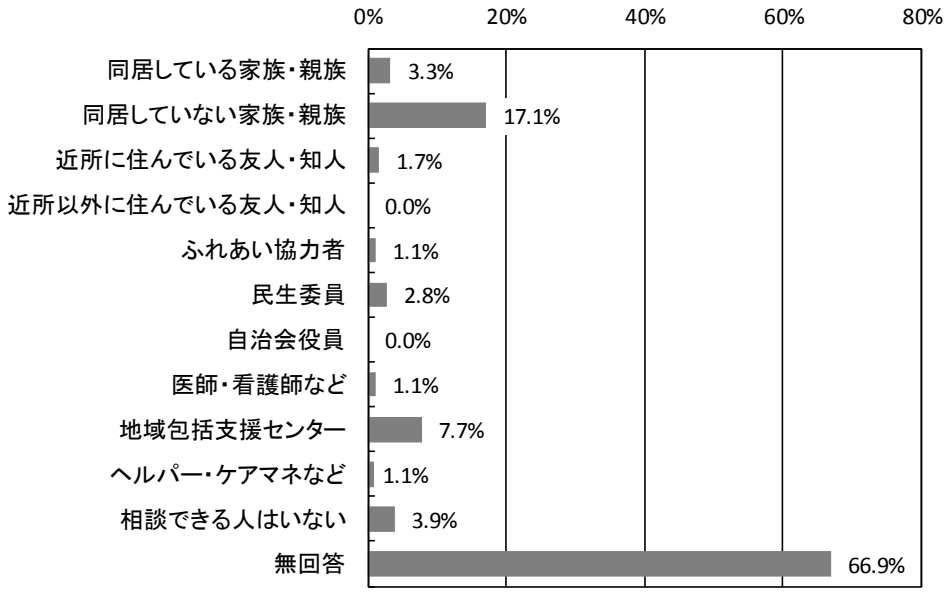
	回答数	割合
同居している家族・親族	7	3.9%
同居していない家族・親族	39	21.5%
近所に住んでいる友人・知人	1	0.6%
近所以外に住んでいる友人・知人	1	0.6%
ふれあい協力者	2	1.1%
民生委員	6	3.3%
自治会役員	1	0.6%
医師・看護師など	0	0.0%
地域包括支援センター	2	1.1%
ヘルパー・ケアマネなど	0	0.0%
相談できる人はいない	11	6.1%
無回答	118	65.2%



【E.家族の介護のこと】

（N=181）

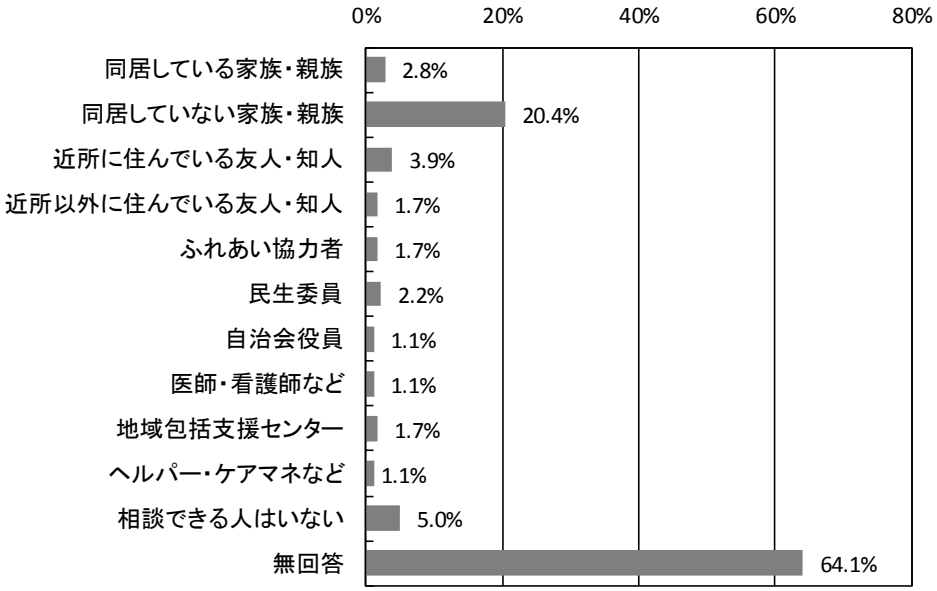
	回答数	割合
同居している家族・親族	6	3.3%
同居していない家族・親族	31	17.1%
近所に住んでいる友人・知人	3	1.7%
近所以外に住んでいる友人・知人	0	0.0%
ふれあい協力者	2	1.1%
民生委員	5	2.8%
自治会役員	0	0.0%
医師・看護師など	2	1.1%
地域包括支援センター	14	7.7%
ヘルパー・ケアマネなど	2	1.1%
相談できる人はいない	7	3.9%
無回答	121	66.9%



【F.子どもや孫など身内のこと】

（N=181）

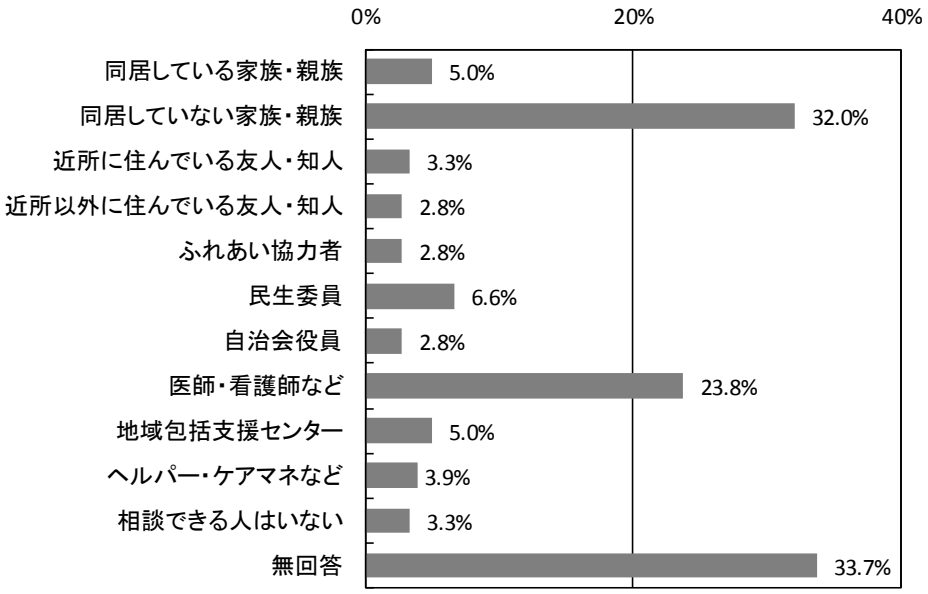
	回答数	割合
同居している家族・親族	5	2.8%
同居していない家族・親族	37	20.4%
近所に住んでいる友人・知人	7	3.9%
近所以外に住んでいる友人・知人	3	1.7%
ふれあい協力者	3	1.7%
民生委員	4	2.2%
自治会役員	2	1.1%
医師・看護師など	2	1.1%
地域包括支援センター	3	1.7%
ヘルパー・ケアマネなど	2	1.1%
相談できる人はいない	9	5.0%
無回答	116	64.1%



【G.自分自身の健康状態について】

（N=181）

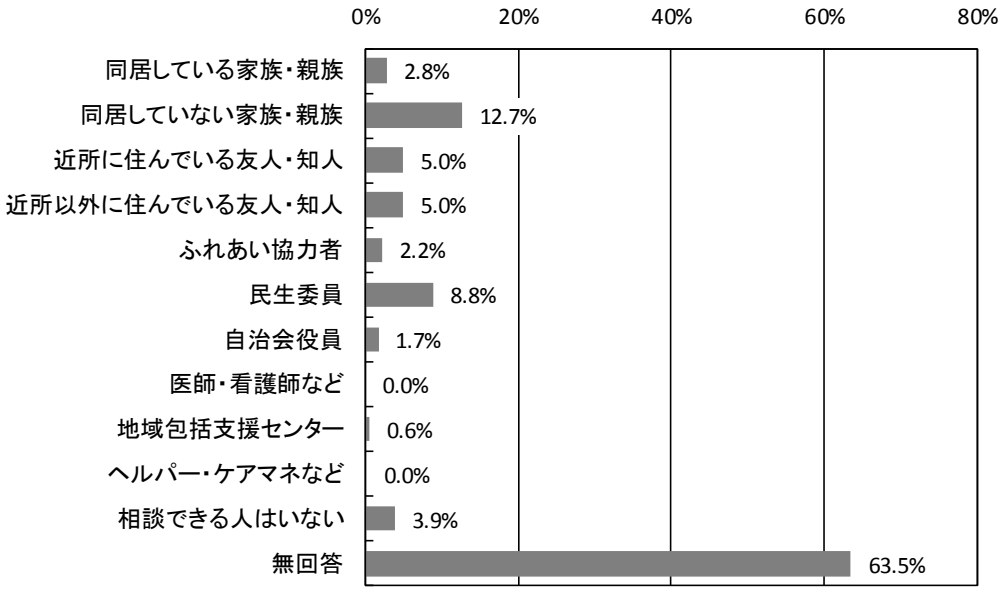
	回答数	割合
同居している家族・親族	9	5.0%
同居していない家族・親族	58	32.0%
近所に住んでいる友人・知人	6	3.3%
近所以外に住んでいる友人・知人	5	2.8%
ふれあい協力者	5	2.8%
民生委員	12	6.6%
自治会役員	5	2.8%
医師・看護師など	43	23.8%
地域包括支援センター	9	5.0%
ヘルパー・ケアマネなど	7	3.9%
相談できる人はいない	6	3.3%
無回答	61	33.7%



【H.人間関係がうまくいかない】

（N=181）

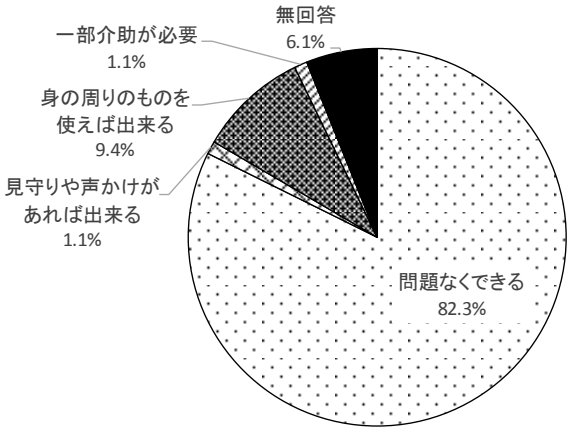
	回答数	割合
同居している家族・親族	5	2.8%
同居していない家族・親族	23	12.7%
近所に住んでいる友人・知人	9	5.0%
近所以外に住んでいる友人・知人	9	5.0%
ふれあい協力者	4	2.2%
民生委員	16	8.8%
自治会役員	3	1.7%
医師・看護師など	0	0.0%
地域包括支援センター	1	0.6%
ヘルパー・ケアマネなど	0	0.0%
相談できる人はいない	7	3.9%
無回答	115	63.5%



問 14	家の中での移動は一人でできますか。

（N=181）

	回答数	割合
問題なくできる	149	82.3%
見守りや声かけがあれば出来る	2	1.1%
身の周りのものを使えば出来る	17	9.4%
一部介助が必要	2	1.1%
ほとんど介助が必要	0	0.0%
無回答	11	6.1%



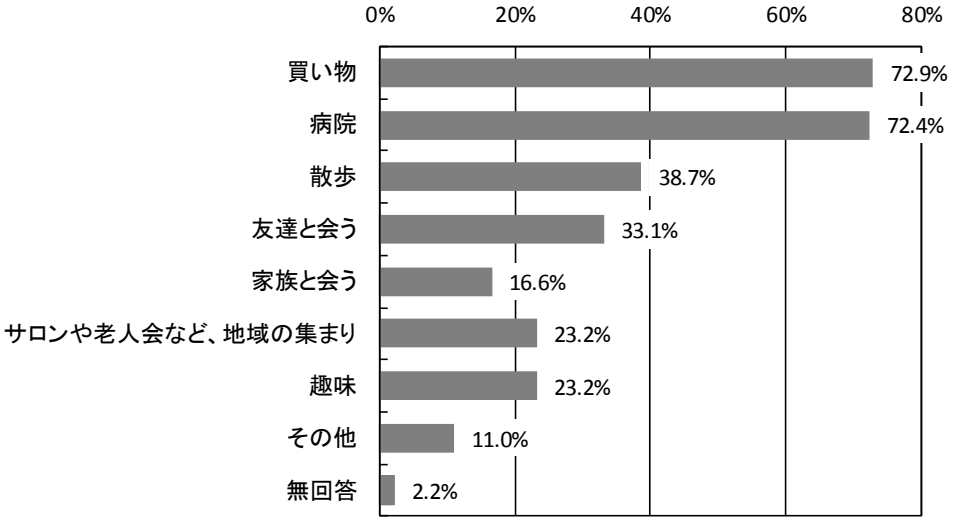
（%）

		サンプル数	問題なくできる	見守りや声かけがあれば出来る	身の周りのものを使えば出来る	一部介助が必要	ほとんど介助が必要	無回答
全　体		181	82.3	1.1	9.4	1.1	－	6.1
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	1	100.0	－	－	－	－	－
	70～74歳	20	100.0	－	－	－	－	－
	75～79歳	55	92.7	－	3.6	1.8	－	1.8
	80～84歳	54	88.9	－	3.7	－	－	7.4
	85歳以上	47	59.6	4.3	27.7	2.1	－	6.4

問 15	どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（〇はいくつでも）

（N=181）

	回答数	割合
買い物	132	72.9%
病院	131	72.4%
散歩	70	38.7%
友達と会う	60	33.1%
家族と会う	30	16.6%
サロンや老人会など、地域の集まり	42	23.2%
趣味	42	23.2%
その他	20	11.0%
無回答	4	2.2%



※複数回答

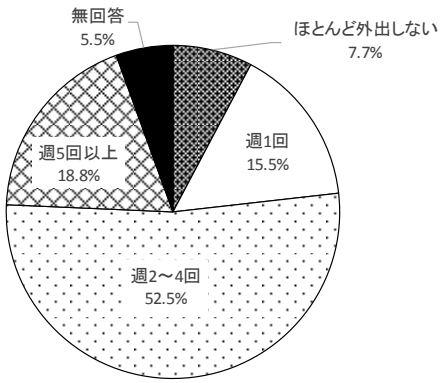
（%）

		サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	家族と会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他	無回答
全　体		181	72.9	72.4	38.7	33.1	16.6	23.2	23.2	11.0	2.2
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—
	70～74歳	20	90.0	55.0	65.0	75.0	20.0	25.0	35.0	—	—
	75～79歳	55	78.2	74.5	49.1	41.8	29.1	14.5	27.3	10.9	—
	80～84歳	54	74.1	75.9	27.8	25.9	14.8	27.8	22.2	13.0	—
	85歳以上	47	61.7	78.7	29.8	14.9	2.1	29.8	17.0	14.9	2.1

問 16	お出かけの頻度はどの位ですか。

（N=181）

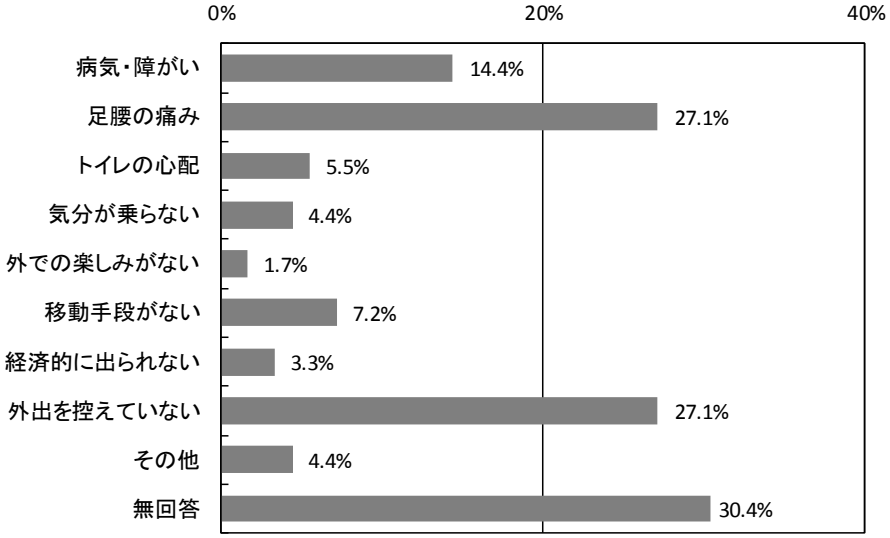
	回答数	割合
ほとんど外出しない	14	7.7%
週1回	28	15.5%
週2～4回	95	52.5%
週5回以上	34	18.8%
無回答	10	5.5%



問 17	外出を控える理由があれば教えてください。（○はいくつでも）

（N=181）

	回答数	割合
病気・障がい	26	14.4%
足腰の痛み	49	27.1%
トイレの心配	10	5.5%
気分が乗らない	8	4.4%
外での楽しみがない	3	1.7%
移動手段がない	13	7.2%
経済的に出られない	6	3.3%
外出を控えていない	49	27.1%
その他	8	4.4%
無回答	55	30.4%



※複数回答

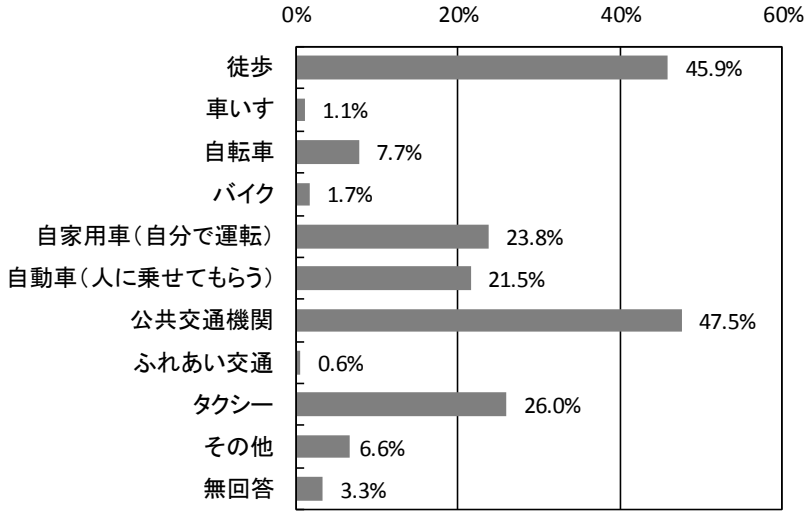
（%）

		サンプル数	病気・障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	経済的に出られない	外出を控えていない	その他	無回答
全　体		181	14.4	27.1	5.5	4.4	1.7	7.2	3.3	27.1	4.4	30.4
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
	70～74歳	20	10.0	35.0	5.0	—	5.0	5.0	5.0	40.0	5.0	25.0
	75～79歳	55	9.1	14.5	3.6	5.5	—	1.8	7.3	27.3	1.8	43.6
	80～84歳	54	13.0	29.6	9.3	5.6	—	13.0	1.9	33.3	5.6	18.5
	85歳以上	47	23.4	38.3	4.3	4.3	4.3	8.5	—	14.9	6.4	27.7

問 18	外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

（N=181）

	回答数	割合
徒歩	83	45.9%
車いす	2	1.1%
自転車	14	7.7%
バイク	3	1.7%
自家用車（自分で運転）	43	23.8%
自動車（人に乗せてもらう）	39	21.5%
公共交通機関	86	47.5%
ふれあい交通	1	0.6%
タクシー	47	26.0%
その他	12	6.6%
無回答	6	3.3%



※複数回答

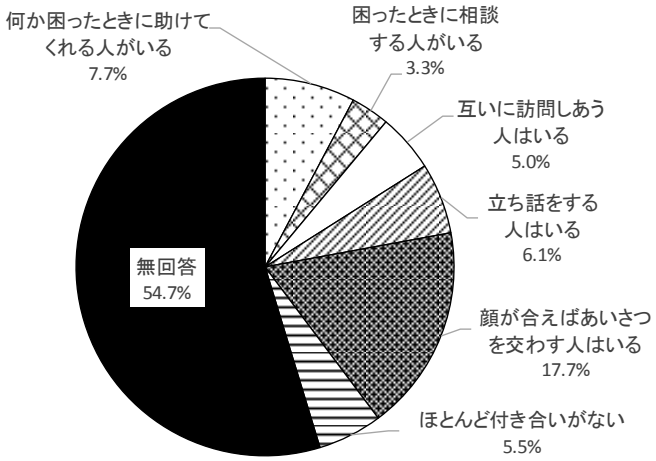
（%）

		サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	公共交通機関	ふれあい交通	タクシー	その他	無回答
全体		181	45.9	1.1	7.7	1.7	23.8	21.5	47.5	0.6	26.0	6.6	3.3
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	1	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
	70～74歳	20	50.0	—	20.0	5.0	45.0	5.0	65.0	—	5.0	5.0	5.0
	75～79歳	55	56.4	1.8	12.7	1.8	21.8	23.6	63.6	—	21.8	3.6	—
	80～84歳	54	40.7	1.9	3.7	1.9	24.1	16.7	42.6	—	31.5	7.4	—
	85歳以上	47	38.3	—	2.1	—	17.0	34.0	31.9	2.1	36.2	10.6	4.3

問 19	あなたは、日頃、ご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

（N=181）

	回答数	割合
何か困ったときに助けてくれる人がいる	14	7.7%
困ったときに相談する人がいる	6	3.3%
互いに訪問しあう人はいる	9	5.0%
立ち話をする人はいる	11	6.1%
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	32	17.7%
ほとんど付き合いがない	10	5.5%
無回答	99	54.7%



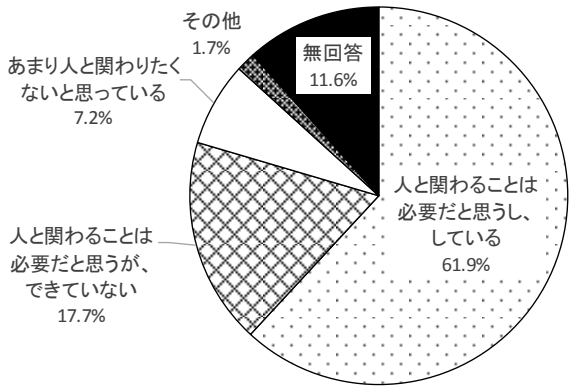
（%）

		サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全　体		181	7.7	3.3	5.0	6.1	17.7	5.5	54.7
性別	男性	48	8.3	8.3	2.1	8.3	29.2	10.4	33.3
	女性	125	7.2	1.6	5.6	5.6	14.4	4.0	61.6

問 20	日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

（N=181）

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	112	61.9%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	32	17.7%
あまり人と関わりたくないと思っている	13	7.2%
その他	3	1.7%
無回答	21	11.6%



（%）

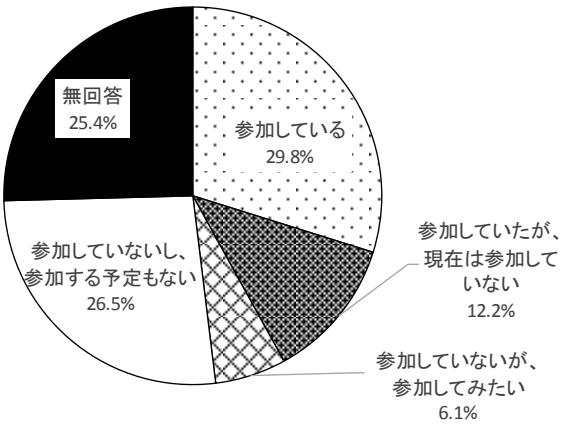
		サンプル数	人と関わることは必要だと思うし、している	人と関わることは必要だと思うが、できていない	あまり人と関わりたくないと思っている	その他	無回答
全体		181	61.9	17.7	7.2	1.7	11.6
性別	男性	48	54.2	12.5	16.7	4.2	12.5
	女性	125	66.4	20.0	4.0	0.8	8.8

問 21①	A～I のそれぞれの活動でお住まいの地域でのあなたの参加状況について、あてはまるものにそれぞれ 1 つ○をしてください。

【A.老人会活動】

（N=181）

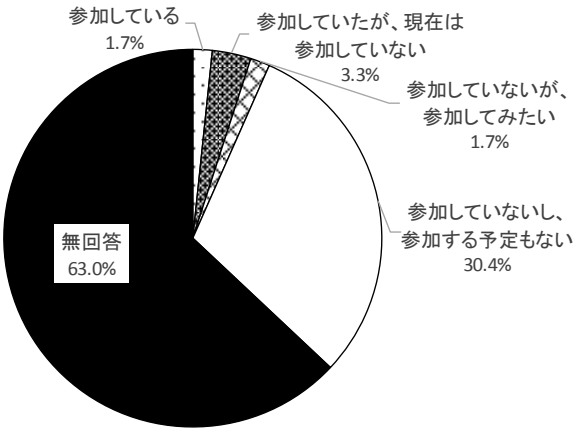
	回答数	割合
参加している	54	29.8%
参加していたが、現在は参加していない	22	12.2%
参加していないが、参加してみたい	11	6.1%
参加していないし、参加する予定もない	48	26.5%
無回答	46	25.4%



【B.婦人会活動】

（N=181）

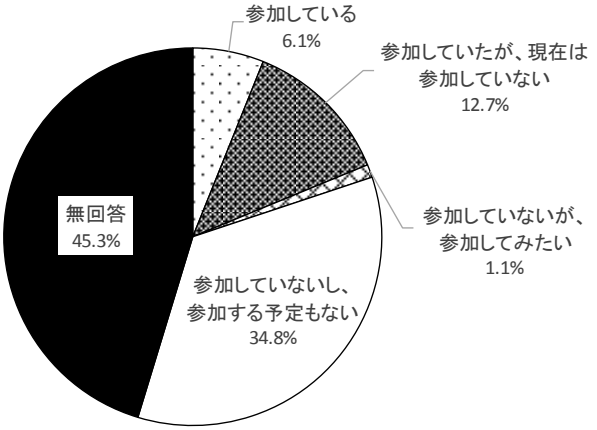
	回答数	割合
参加している	3	1.7%
参加していたが、現在は参加していない	6	3.3%
参加していないが、参加してみたい	3	1.7%
参加していないし、参加する予定もない	55	30.4%
無回答	114	63.0%



【C.地域の役員・世話人活動】

（N=181）

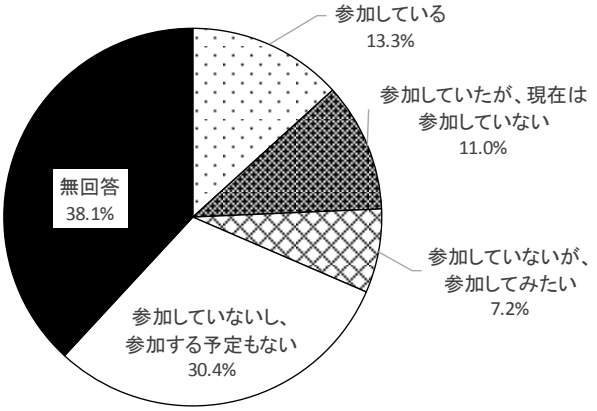
	回答数	割合
参加している	11	6.1%
参加していたが、現在は参加していない	23	12.7%
参加していないが、参加してみたい	2	1.1%
参加していないし、参加する予定もない	63	34.8%
無回答	82	45.3%



【D.公民館講座】

（N=181）

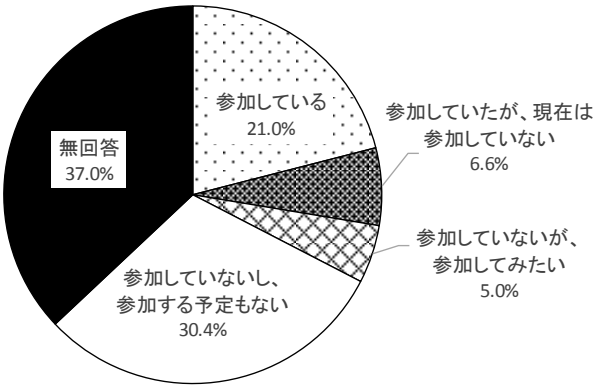
	回答数	割合
参加している	24	13.3%
参加していたが、現在は参加していない	20	11.0%
参加していないが、参加してみたい	13	7.2%
参加していないし、参加する予定もない	55	30.4%
無回答	69	38.1%



【E.趣味の活動】

（N=181）

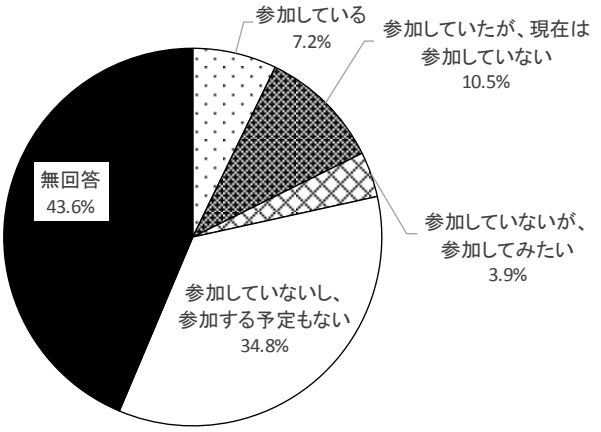
	回答数	割合
参加している	38	21.0%
参加していたが、現在は参加していない	12	6.6%
参加していないが、参加してみたい	9	5.0%
参加していないし、参加する予定もない	55	30.4%
無回答	67	37.0%



【F.ボランティア活動】

（N=181）

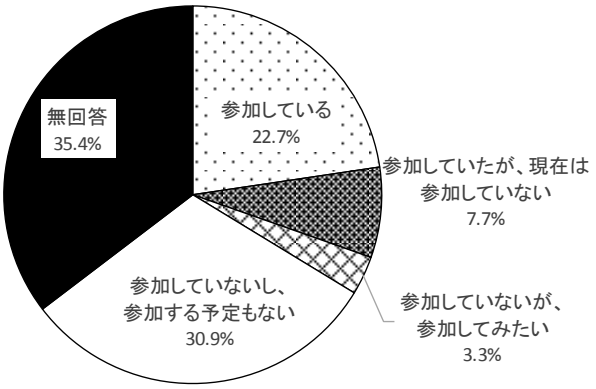
	回答数	割合
参加している	13	7.2%
参加していたが、現在は参加していない	19	10.5%
参加していないが、参加してみたい	7	3.9%
参加していないし、参加する予定もない	63	34.8%
無回答	79	43.6%



【G.高齢者サロン活動】

（N=181）

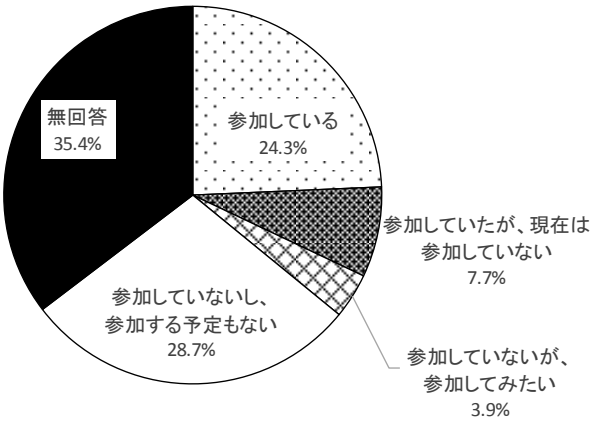
	回答数	割合
参加している	41	22.7%
参加していたが、現在は参加していない	14	7.7%
参加していないが、参加してみたい	6	3.3%
参加していないし、参加する予定もない	56	30.9%
無回答	64	35.4%



【H.地域のお祭り・行事】

（N=181）

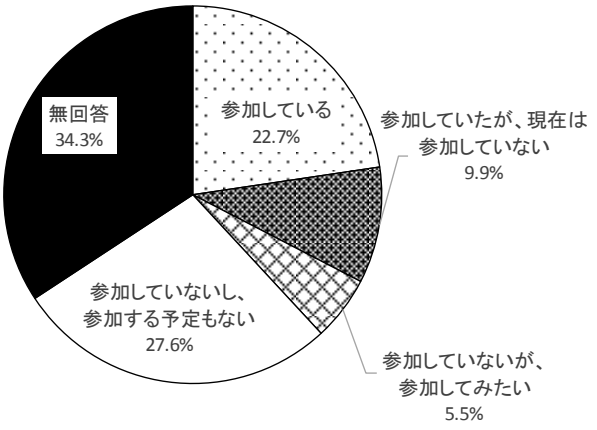
	回答数	割合
参加している	44	24.3%
参加していたが、現在は参加していない	14	7.7%
参加していないが、参加してみたい	7	3.9%
参加していないし、参加する予定もない	52	28.7%
無回答	64	35.4%



【I.運動や体操などの健康づくり活動】

（N=181）

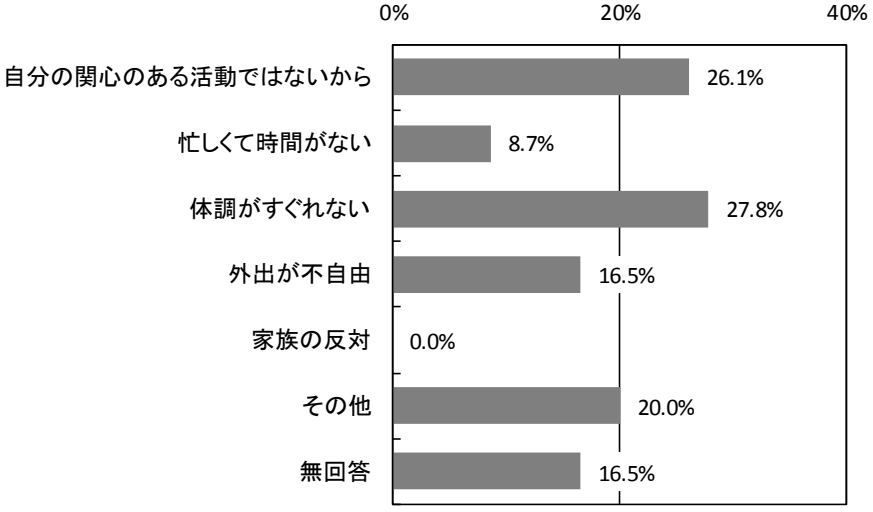
	回答数	割合
参加している	41	22.7%
参加していたが、現在は参加していない	18	9.9%
参加していないが、参加してみたい	10	5.5%
参加していないし、参加する予定もない	50	27.6%
無回答	62	34.3%



問 21②	問 21①で、「参加していない（2～4）と答えた方は、理由をお聞かせください。（○はいくつでも）

（N=115）

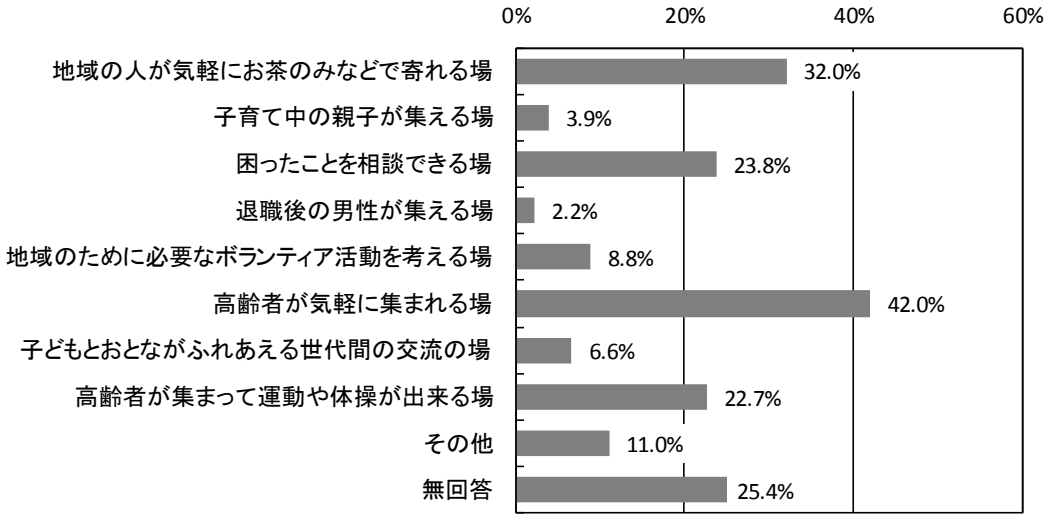
	回答数	割合
自分の関心のある活動ではないから	30	26.1%
忙しくて時間がない	10	8.7%
体調がすぐれない	32	27.8%
外出が不自由	19	16.5%
家族の反対	0	0.0%
その他	23	20.0%
無回答	19	16.5%



問 22	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=181）

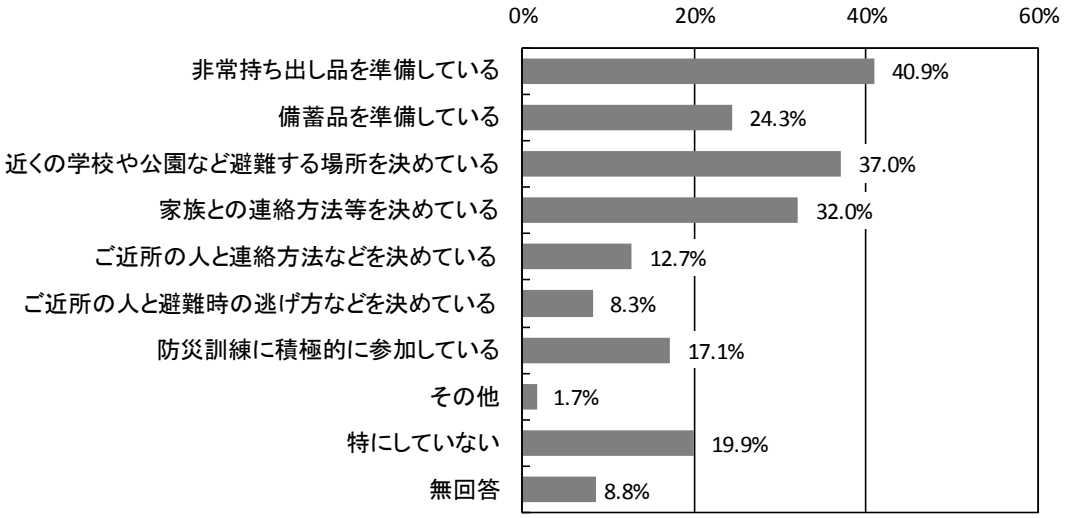
	回答数	割合
地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	58	32.0%
子育て中の親子が集える場	7	3.9%
困ったことを相談できる場	43	23.8%
退職後の男性が集える場	4	2.2%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	16	8.8%
高齢者が気軽に集まれる場	76	42.0%
子どもとおとながふれあえる世代間の交流の場	12	6.6%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	41	22.7%
その他	20	11.0%
無回答	46	25.4%



問 23	災害に対してあなたはどんな備えをしていますか。（〇はいくつでも）

（N=181）

	回答数	割合
非常持ち出し品を準備している	74	40.9%
備蓄品を準備している	44	24.3%
近くの学校や公園など避難する場所を決めている	67	37.0%
家族との連絡方法等を決めている	58	32.0%
ご近所の人と連絡方法などを決めている	23	12.7%
ご近所の人と避難時の逃げ方などを決めている	15	8.3%
防災訓練に積極的に参加している	31	17.1%
その他	3	1.7%
特にしていない	36	19.9%
無回答	16	8.8%



※複数回答

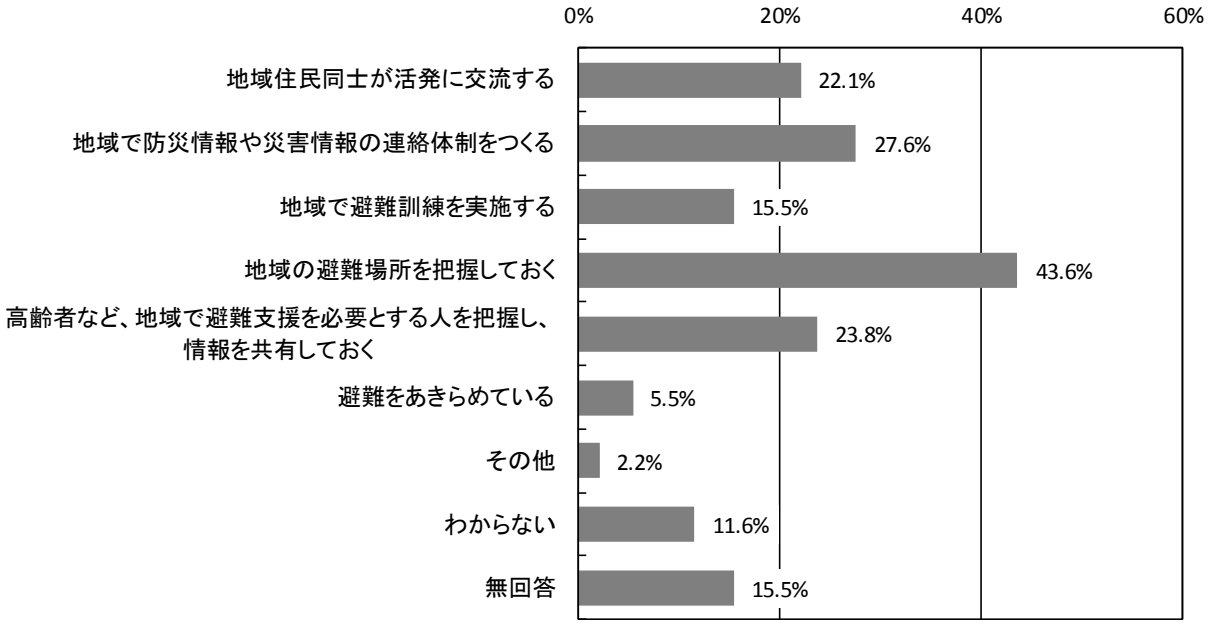
（%）

		サンプル数	非常持ち出し品を準備している	備蓄品を準備している	近くの学校や公園など避難する場所を決めている	家族との連絡方法等を決めている	ご近所の人と連絡方法などを決めている	ご近所の人と避難時の逃げ方などを決めている	防災訓練に積極的に参加している	その他	特にしていない	無回答
全体		181	40.9	24.3	37.0	32.0	12.7	8.3	17.1	1.7	19.9	8.8
性別	男性	48	50.0	16.7	41.7	25.0	10.4	10.4	12.5	―	20.8	4.2
	女性	125	39.2	28.8	37.6	36.0	14.4	8.0	20.0	1.6	18.4	8.0

問 24	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=181）

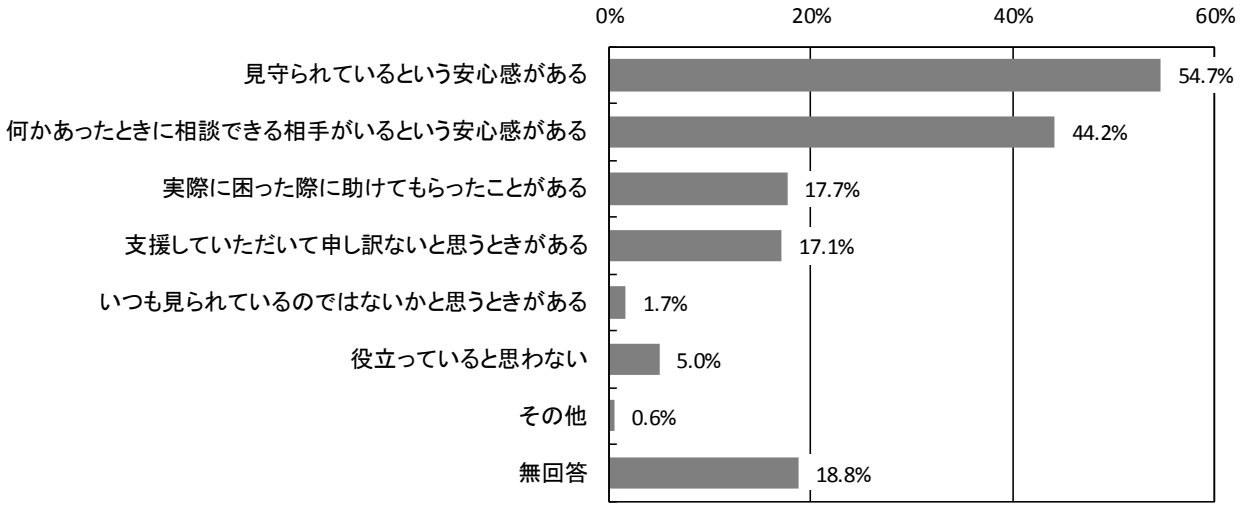
	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	40	22.1%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	50	27.6%
地域で避難訓練を実施する	28	15.5%
地域の避難場所を把握しておく	79	43.6%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	43	23.8%
避難をあきらめている	10	5.5%
その他	4	2.2%
わからない	21	11.6%
無回答	28	15.5%



問 25	住民活動の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

（N=181）

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	99	54.7%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	80	44.2%
実際に困った際に助けてもらったことがある	32	17.7%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	31	17.1%
いつも見られているのではないかと思うときがある	3	1.7%
役立っていると思わない	9	5.0%
その他	1	0.6%
無回答	34	18.8%



※複数回答

（%）

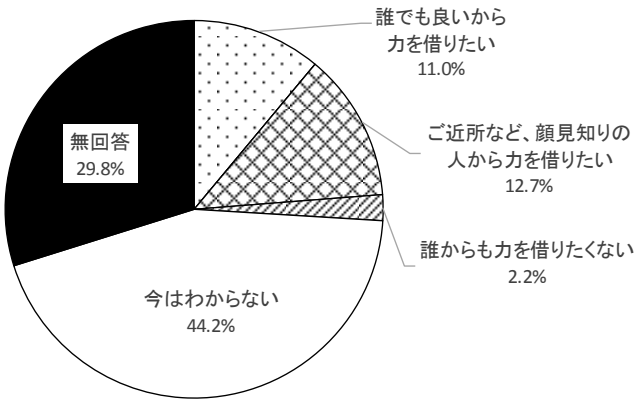
		サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援していただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他	無回答
全　体		181	54.7	44.2	17.7	17.1	1.7	5.0	0.6	18.8
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	1	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－
	70～74歳	20	40.0	45.0	15.0	20.0	－	15.0	－	10.0
	75～79歳	55	52.7	47.3	16.4	18.2	3.6	5.5	－	16.4
	80～84歳	54	59.3	37.0	13.0	11.1	1.9	5.6	1.9	20.4
	85歳以上	47	61.7	51.1	27.7	23.4	－	－	－	17.0

問 26	A～I のそれぞれの困りごとについて、自分や同居の家族が、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。あてはまるものにそれぞれ 1 つ○をしてください。

【A.買い物】

（N=181）

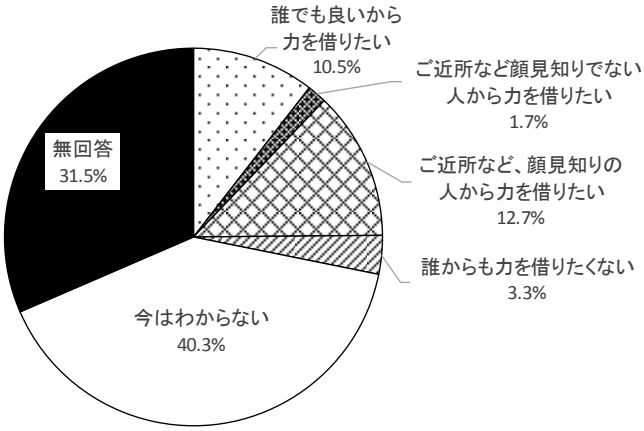
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	20	11.0%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	0	0.0%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	23	12.7%
誰からも力を借りたくない	4	2.2%
今はわからない	80	44.2%
無回答	54	29.8%



【B.ゴミ出し】

（N=181）

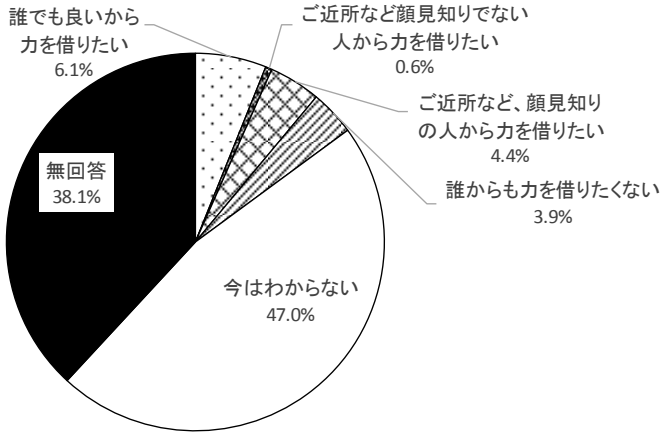
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	19	10.5%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	3	1.7%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	23	12.7%
誰からも力を借りたくない	6	3.3%
今はわからない	73	40.3%
無回答	57	31.5%



【C.布団干し】

（N=181）

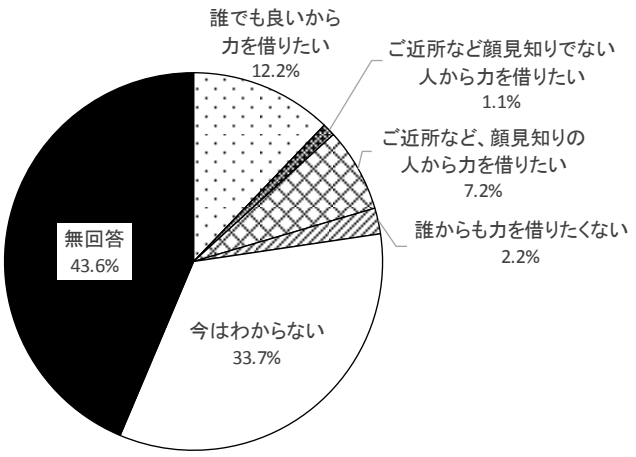
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	11	6.1%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	1	0.6%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	8	4.4%
誰からも力を借りたくない	7	3.9%
今はわからない	85	47.0%
無回答	69	38.1%



【D.草刈り】

（N=181）

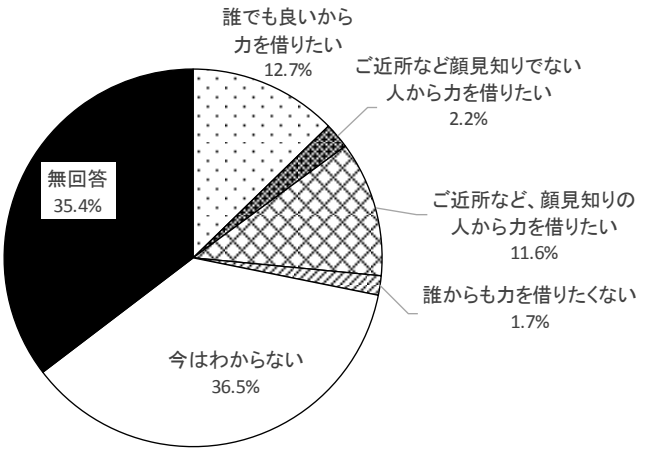
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	22	12.2%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	2	1.1%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	13	7.2%
誰からも力を借りたくない	4	2.2%
今はわからない	61	33.7%
無回答	79	43.6%



【E.電球の交換】

（N=181）

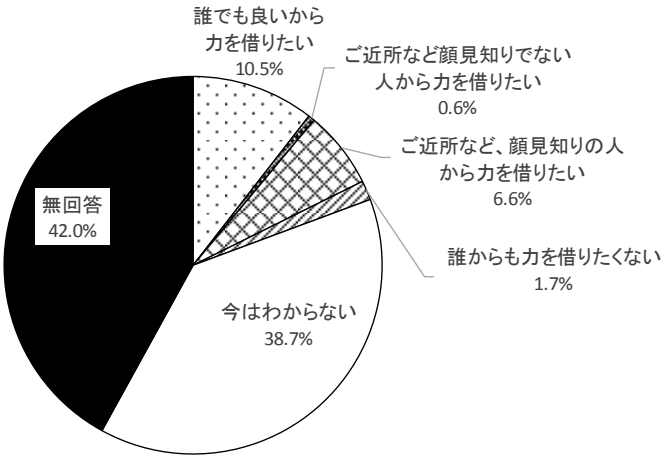
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	23	12.7%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	4	2.2%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	21	11.6%
誰からも力を借りたくない	3	1.7%
今はわからない	66	36.5%
無回答	64	35.4%



【F.家の中の修繕】

（N=181）

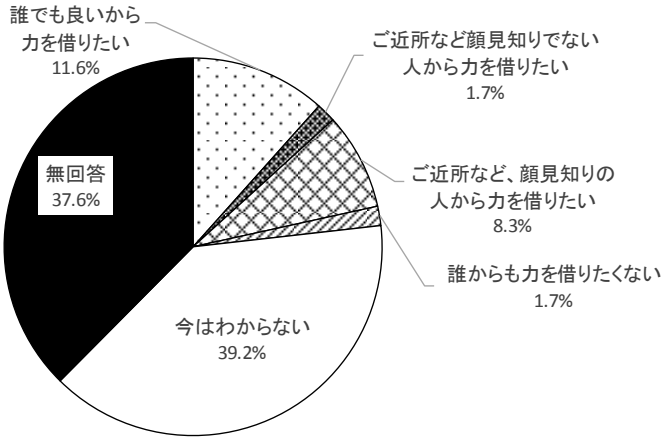
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	19	10.5%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	1	0.6%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	12	6.6%
誰からも力を借りたくない	3	1.7%
今はわからない	70	38.7%
無回答	76	42.0%



【G.重たい家具の移動】

（N=181）

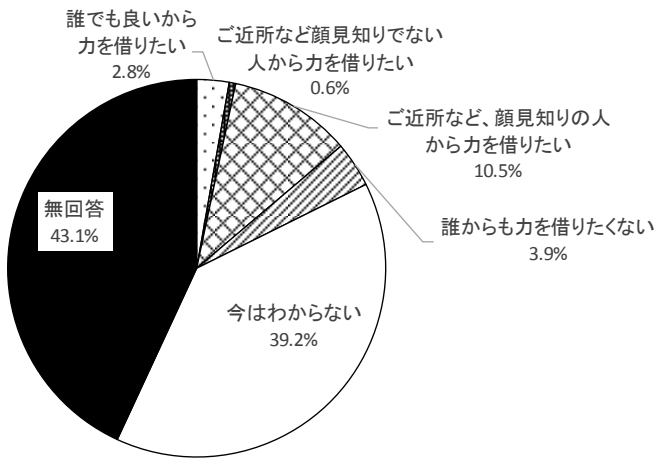
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	21	11.6%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	3	1.7%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	15	8.3%
誰からも力を借りたくない	3	1.7%
今はわからない	71	39.2%
無回答	68	37.6%



【H.外出】

（N=181）

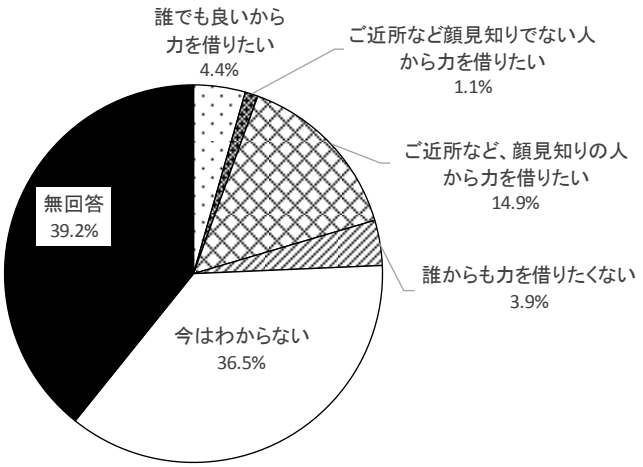
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	5	2.8%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	1	0.6%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	19	10.5%
誰からも力を借りたくない	7	3.9%
今はわからない	71	39.2%
無回答	78	43.1%



【I.話し相手】

（N=181）

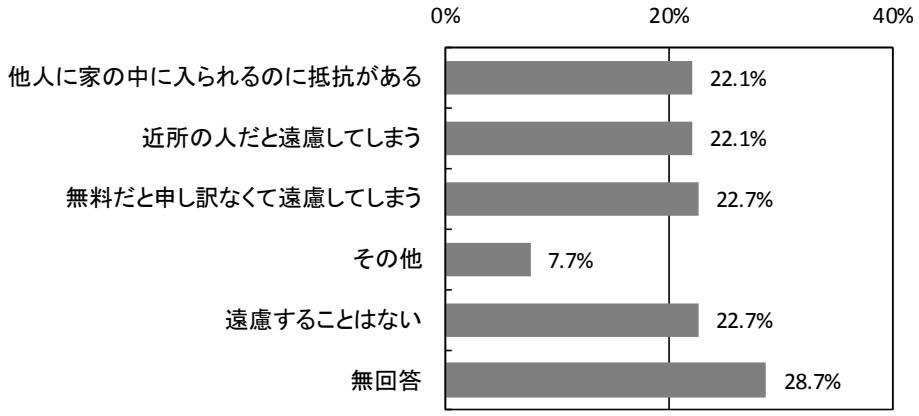
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	8	4.4%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	2	1.1%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	27	14.9%
誰からも力を借りたくない	7	3.9%
今はわからない	66	36.5%
無回答	71	39.2%



問 27	問 26 のような、力を借りることについて、以下の理由で遠慮してしまうことはあると思いますか。（〇はいくつでも）

（N=181）

	回答数	割合
他人に家の中に入られるのに抵抗がある	40	22.1%
近所の人だと遠慮してしまう	40	22.1%
無料だと申し訳なくて遠慮してしまう	41	22.7%
その他	14	7.7%
遠慮することはない	41	22.7%
無回答	52	28.7%



※複数回答

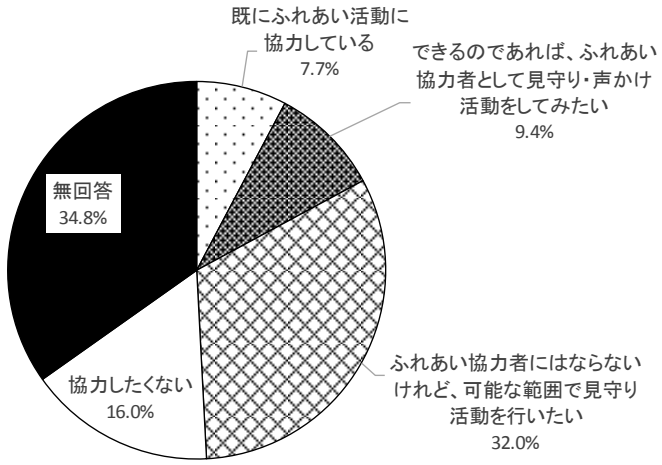
（%）

		サンプル数	他人に家の中に入られるのに抵抗がある	近所の人だと遠慮してしまう	無料だと申し訳なくて遠慮してしまう	その他	遠慮することはない	無回答
全体		181	22.1	22.1	22.7	7.7	22.7	28.7
性別	男性	48	22.9	20.8	20.8	8.3	33.3	18.8
	女性	125	22.4	22.4	24.0	8.0	19.2	30.4

問 28	あなたは「ふれあい活動（見守り・声かけ活動）」に協力してみたいと思いますか。

（N=181）

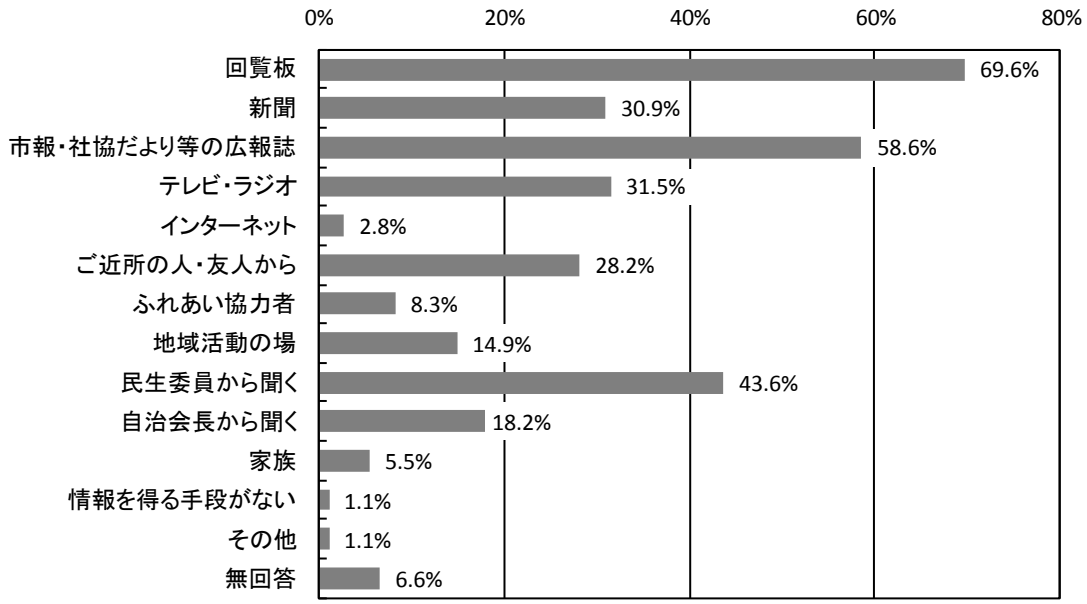
	回答数	割合
既にふれあい活動に協力している	14	7.7%
できるのであれば、ふれあい協力者として見守り・声かけ活動をしてみたい	17	9.4%
ふれあい協力者にはならないけれど、可能な範囲で見守り活動を行いたい	58	32.0%
協力したくない	29	16.0%
無回答	63	34.8%



問 29	地域の各団体の活動については、どのように情報を得ていますか。（〇はいくつでも）

（N=181）

	回答数	割合
回覧板	126	69.6%
新聞	56	30.9%
市報・社協だより等の広報誌	106	58.6%
テレビ・ラジオ	57	31.5%
インターネット	5	2.8%
ご近所の人・友人から	51	28.2%
ふれあい協力者	15	8.3%
地域活動の場	27	14.9%
民生委員から聞く	79	43.6%
自治会長から聞く	33	18.2%
家族	10	5.5%
情報を得る手段がない	2	1.1%
その他	2	1.1%
無回答	12	6.6%



※複数回答

（%）

		サンプル数	回覧板	新聞	市報・社協だより等の広報誌	テレビ・ラジオ	インターネット	ご近所の人・友人から	ふれあい協力者	地域活動の場	民生委員から聞く	自治会長から聞く	家族	情報を得る手段がない	その他	無回答
全　体		181	69.6	30.9	58.6	31.5	2.8	28.2	8.3	14.9	43.6	18.2	5.5	1.1	1.1	6.6
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	1	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
	70～74歳	20	65.0	10.0	50.0	25.0	10.0	20.0	5.0	5.0	60.0	10.0	5.0	5.0	—	—
	75～79歳	55	74.5	27.3	56.4	36.4	—	43.6	10.9	12.7	47.3	14.5	7.3	1.8	—	1.8
	80～84歳	54	72.2	42.6	63.0	29.6	3.7	18.5	11.1	22.2	46.3	25.9	5.6	—	3.7	7.4
	85歳以上	47	68.1	31.9	55.3	29.8	2.1	27.7	4.3	14.9	31.9	19.1	4.3	—	—	14.9

鴛野校区社会福祉協議会　地域福祉活動計画	
発　行　日	平成３０年３月
発　　行	鴛野校区社会福祉協議会 大分市社会福祉協議会　地域福祉課　地域福祉係 〒８７０－０８３９ 大分市金池南１丁目５番１号　ホルトホール大分４階 ℡　０９７－５４７－７４１８